

松宮太郎兵衛家文書(附「日誌」)

(採訪時住所 和歌山県有田郡湯浅町)

目録番号	年号	西暦	干支	閏	月	日	標題	作成	宛名	形態	数量	備考
1	明治25	1892					割合帳	網屋仲間		横帳	1	
2			戌	旧	10	19	(恵宝丸吉野屋船、浅吉船諸入用覚)	紀集湯浅 吉野屋 成姿	網屋多郎兵衛様 恵宝丸浅吉様	横帳	1	
3	明治15	1882	壬午		6		日賦取集人勘定帳	壮立社 計算係リ		横帳	1	
4	明治22	1889		旧	11		蜜柑採取、箱詰、輸出諸控	満津美家内		横帳	1	
5	明治14	1881			12	2	記(預り証書につき)	吉田和三郎		横帳	1	
6			卯		辰正		卯年分 酒方店勘定帳	網太		横帳	1	
7	明治31	1898		旧盆前			得意掛取巡回録	松宮商店		横帳	1	
8							(盃及皿等代金書上)			横半帳	1	
9	明治15	1882			3		第貳号 明治十五年三月方四月迄計算表			横帳	1	
10			巳		2		(金銭貸付覚)	網太		横帳	1	
11	明治28	1895			4		(網代金借用覚)	湯浅 松宮太良兵衛殿	南部村 炭本八兵衛(印)	横帳	1	
12	明治)15	1882					(地方税および協議費額書上)			横帳	1	
13			辰		9		覚(金銭貸付につき)			横帳	1	
14			午		5		(金銭貸付覚)			横帳	1	

目録番号	年号	西暦	干支	閏	月	日	標題	作成	宛名	形態	数量	備考
15			午			6	寛(金銭貸付につき)			横帳	1	
16			午			5	(金銭貸付寛)			横帳	1	
17			午			6 20	寛(金銭貸借につき)			横帳	1	
18			午			5	寛(金銭出納につき)			横帳	1	
19	慶應 3	1867	卯			極	金蘭請受取通		松宮太良兵衛殿	横帳	1	
20	明治 3	1870	辛未			9	普請諸雑費	網屋 多郎兵衛		横半帳	1	
21			午			6 朔	寛(金銭出納につき)			横帳	1	
22	明治15	1882				1	明治十五年第一月ヨリ同九月迄 貸付金高及借入金利納并ニ費用高仕出シ寛			横帳	1	
23	明治29	1896				第9	引継貸金證明控	支配人 城郭健吉		横帳	1	
24					旧	10	未金銭掛扣帳	網屋 多郎兵衛		横帳	1	
25			戌			9 12	浦方取立、頼母子掛銀受取通		網屋仙助殿	横帳	1	
26	明治31	1898	戌			第5 吉	辻印透網賃金計算表	松宮商店 製網部		帳面類	1	
27	慶応 4	1868	辰			5	(金銭寛帳)			横帳	1	

目録番号	年号	西暦	干支	閏	月	日	標題	作成	宛名	形態	数量	備考
28	明治27	1894			2	10	地所書入借用金契約証	紀伊國有田郡湯浅村大字湯浅 債務者 法眼弥兵衛(印)、全園全郡 全村大字湯浅 抵当貸主兼証人 松 宮太郎兵衛	紀伊國海部郡塩津村大 字塩津 債主 石橋八九郎殿	縦帳	1	▼一部欠損あり▼証券 印紙あり▼登記の書込 みおよび「和歌山區裁判 所湯浅出張所」印あり
29	安政 5	1858	午		5		安政五年五月ノ十月迄 栩野屋長兵衛方勘定帳	後見人 仙助		横帳	1	▼貼紙多数あり
30	1	明治31	1898		5	16	商業税町會議案	湯浅町長 阿瀬卯兵衛代理 助役 竹中新助[印]		単票	1	
30	2	明治31	1898		5	16	工業税町會議案	湯浅町長 阿瀬卯兵衛代理 助役 竹中新助[印]		単票	1	
30	3	明治31	1898		5	19	海面捕魚税町會議案	湯浅町長 阿瀬卯兵衛[印]		単票	1	
31			午		6	朔	午六月ノ十月迄勘定目録書	阿ミ屋 仙助	栩ノヤ長兵衛殿	横帳	1	▼貼紙多数あり
32			午		5		午五月ノ九月迄 栩野屋長兵衛方仕出し目録扣			横帳	1	
33	安政 5	1858	午		5		安政五年六月ノ十月迄 栩野屋長兵衛方勘定仕出し帳	後見人 甚六 仙助		横帳	1	▼貼紙多数あり
34	明治15	1882			7		明治十五年七月分計算表(日賦貸付金等につき)			横帳	1	▼7~9月および12月分
35	文久 2	1862	戌		5		掛銀受取通		網屋仙助殿	横帳	1	▼貼紙あり
36							(耶蘇教の弊害につき覚)			単票	2	▼貼紙あり▼同一内容 (写し)あり
37	元治 2	1865	乙丑		正	吉	寄合諸色扣	網屋仲間		横帳	1	▼数丁綴込みあり
38	天保 9	1838	戊戌		正	吉	判取帳	網方行司元		横半帳	1	▼貼紙あり

目録番号	年号	西暦	干支	閏	月	日	標題	作成	宛名	形態	数量	備考
39	文久 2	1862	壬戌			極	判取帳			横半帳	1	▼貼紙あり▼挟み込み史料あり
40	明治 3	1870	庚午			3	通(金銭通帳)	網屋 太郎兵衛		横半帳	1	
41	明治 5	1872	壬申			正	割合帳	網屋仲間		横帳	1	▼貼紙あり
42	明治25	1892				5 28	明治二十五年 徴兵延期意見書写	有田郡徴兵参事員		帳面類	1	
43	文久 3	1863	亥			9	網芋取引通	あみ清	網屋太郎兵衛殿	横半帳	1	
44	明治37	1904					納税ノ揚帳(明治37年~大正3年)	松宮		帳面類	1	▼「営業税課税標準及税率改正通知」あり
45	明治 3	1870	午			正	網御届ケ帳	網屋市郎右衛門(印)		横帳	1	
46	明治10	1877				第10	入金返納かよひ	口(屋号)組店(印)	松宮殿	横半帳	1	▼屋号は十にかぎ
47	明治 4	1871				7 12	領收証(抵当権取得登記済貸付金完済につき)	和歌山市北汀丁貳番町 債権者 株式会社和歌山縣農工銀行、右銀行取締役頭取 谷井勘藏(印)	有田郡湯浅町大字湯浅 松宮太郎兵衛殿	帳面類	1	▼収入印紙あり▼「和歌山區裁判所湯浅出張所」印、「登記済」印あり
48	明治27	1894				5 15	明治廿七年度湯浅村臨時村會議決(工業税及び商業税につき)	議長 阿瀬卯兵衛 議員 竹中新助 同 木下庄兵衛		単票	1	
49	明治16	1883				11	補助金借用証	法眼六郎右衛門(印)	松宮多郎兵衛殿	横半帳	1	
50	1 明治37	1904				10 8	(深専寺にて日本赤十字社社業拡張説明会開催につき参加依頼)	日本赤十字社和歌山支部 有田郡委員長 佐々木米三郎	役員正社員 松宮太郎兵衛殿	単票	1	
50	2 明治37	1904				10 8	(深専寺にて日本赤十字社社業拡張説明会開催につき参加依頼)	日本赤十字社和歌山支部 有田郡委員長 佐々木米三郎	正社員 松宮茂一郎殿	単票	1	

目録番号	年号	西暦	干支	閏	月	日	標題	作成	宛名	形態	数量	備考
50	3						入社申込書		日本赤十字社御中	単票	2	▼同一史料2点
51	明治17	1884			9		営業御届(網、網糸等卸および小売つき)	有田郡湯浅村 松宮太郎兵衛(印)、 営業組合惣代人 大谷源助(印)	有田郡長 野田四郎殿	便箋	3	▼同一史料3点
52			未		正		網蔵内しらへ臺帳			横帳	1	
53	明治5	1872	壬申		正		未年網賣揃反掛り銭上納帳	湯浅村網職仲間		横帳	1	
54	明治16	1883			6		□(屋号)預ケ金ひかえ			横半帳	1	▼屋号はかさに㊦▼切紙2点挟み込みあり
55	明治22	1889	丑		10		源田丁普請入用扣	裕宮漁店		折紙	1	▼元は横半帳か(綴じ穴あり)
56			巳		1		すべ縄買入ひかえ	裕宮内		横帳	1	
57	明治28	1895					明治二十八年度 和歌山縣有田郡湯浅村歳入出豫算表			綴	12	
57	1	明治28	1895				和歌山縣有田郡湯浅村明治二十八年度歳入出總計豫算			単票	1	
57	2						湯浅村歳入豫算表			単票	1	▼貼紙あり
57	3	明治28	1895		3	30	湯浅村歳出豫算表	和歌山縣有田郡 湯浅村長 阿瀬卯兵衛[印]		単票	1	▼貼紙あり
57	4	明治28	1895				参考(第1号～第3号)			単票	1	▼村費、災害予防費、教育費各収支科目
57	5	明治28	1895				明治二十八年度地方税捕魚税徴収参考表			単票	1	
57	6	明治28	1895				明治二十八年度湯浅村臨時村會議決			単票	1	

目録番号	年号	西暦	干支	閏	月	日	標題	作成	宛名	形態	数量	備考
57	7	明治28	1895			5 15	海面浦魚税臨時村會議決録	議長 竹中新助[印] 議員 堀田孫三郎(印) 全 木下庄兵衛(印)		単票	1	
57	8	明治28	1895			5 28	明治廿八年度大字湯浅戸數割村會議案	湯浅村會議長 阿瀬卯兵衛[印]		単票	1	
57	9	明治28	1895				明治廿八年度湯浅村臨時村會議決			単票	1	
57	10	明治28	1895			4 24	二十八年工業税村會議決録	議長 阿瀬卯兵衛[印] 議員 塩路清七(印) 全 木下庄兵衛(印)		単票	1	
57	11	明治28	1895			4 24	明治二十八年商業税村會議決録	議長 阿瀬卯兵衛[印] 議員 木下庄兵衛(印) 全 塩路清七(印)		単票	1	
57	12	明治28	1895			5 30	明治廿八年度大字湯浅戸別割賦課案	湯浅村長 阿瀬卯兵衛[印]		単票	1	
58	1	明治30	1897			5 10	明治三十年度大字湯浅戸數割町會議案	議長 湯浅町長 阿瀬卯兵衛[印]		単票	1	
58	2	明治30	1897			5 10	明治三十年度磯脇戸數割町會議案	議長 湯浅町長 阿瀬卯兵衛[印]		単票	1	
59	1	明治27	1894			5 8	明治二十七年大字湯浅戸數割村會議案	湯浅村長 阿瀬卯兵衛[印]		単票	1	
59	2	明治27	1894			5 8	参考 明治廿七年度大字湯浅戸別割賦課議案	湯浅村長 阿瀬卯兵衛[印]		単票	1	
60	1	明治30	1897			7 24	商業税町會議按	湯浅町長 阿瀬卯兵衛[印]		単票	1	
60	2						工業税町會議按			単票	1	
61							(明治26年度歳入出決算報告に対する意見書および報告書一括)			綴	4	
61	1	明治27	1894			9 8	明治廿六年度歳入出決算報告ニ對スル意見書	湯浅村長 阿瀬卯兵衛		単票	1	

目録番号		年号	西暦	干支	閏	月	日	標題	作成	宛名	形態	数量	備考
61	2	明治27	1894			9	9	和歌山縣有田郡湯淺村明治廿六年度歳入出決算報告書	湯淺村収入役		単票	1	▼表紙
61	2	1 明治27	1894			9	9	和歌山縣有田郡湯淺村明治廿六年度歳入出總計決算報告書	湯淺村會議長 阿瀬卯兵衛		単票	1	▼作成は61-2-2より推定▼「明治27年9月7日湯淺村収入役 中尾治兵衛」提出
61	2	2 明治27	1894			9	9	和歌山縣有田郡湯淺村明治廿六年度歳入出決算報告書	湯淺村會議長 阿瀬卯兵衛		単票	1	▼「明治27年9月7日湯淺村収入役 中尾治兵衛」提出
62	1	明治27	1894			4	12	明治二十七年度 和歌山縣有田郡湯淺村歳入出豫算表	和歌山縣有田郡 湯淺村長 阿瀬卯兵衛[印]		単票	1	▼表紙
62	1	1 明治27	1894			4	12	和歌山縣有田郡湯淺村明治二十七年度歳入出總計豫算			単票	1	
62	1	2 明治27	1894			4	12	湯淺村歳入豫算表			単票	1	写真1枚抜けあり
62	1	3 明治27	1894			4	12	湯淺村歳出豫算表			単票	1	
62	2							参考(第1号～第3号)			単票	1	▼村費、土木費共有地費雑支出、教育費各収支科目
63		明治21	1888			10		葡萄栽培實業傳授大略草稿	大阪西区京町堀一丁目 葡萄組商會支店		豎紙	1	▼栽培方法図解あり
64						5	15	預ヶ金日ヒ取集記			横半帳	1	
65		安政 2	1855	乙卯		正		割合帳	網屋仲間中		横帳	1	
66						4	24	(取引関係につき書状)	井上量蔵	鳥吉殿	便箋	1	▼「合名会社鈴木銀行用箋」使用
67						1	18	(催眠術による治療法につき書状)	謙三店	松宮大人	便箋	1	▼「南海物産商會用箋」使用

目録番号	年号	西暦	干支	閏	月	日	標題	作成	宛名	形態	数量	備考
68	明治34	1901			5	26	(取引関係につき書状)	前田	松宮御大	便箋	1	▼「合名会社鈴木銀行用箋」使用
69					2	3	(三井銀行取引関係書状)	量蔵拝	松宮太郎兵衛様	便箋	1	
70							(大阪三井物産取引関係書状)			綴	2	
70	1						(滞在中の厚遇感謝等につき書状)	前田拝	松口(宮)大兄	便箋	1	▼「大阪三井物産合名会社支店」用箋使用
70	2					26	(網器械等つき書状)	兼三拝	松宮伯父様	便箋	1	
71							(取引関係書状等一括)			綴	22	
71	1	明治21	1888		8	6	(書状包紙)	西牟婁郡日置浦字市江浦 小出榮五郎拝	有田郡湯浅村 松宮太郎兵衛様	縦紙	1	▼書状は不明
71	2						(病氣療養等につき書状)	源衛	太郎兵衛殿	縦紙	1	
71	3	明治23	1890		10	19	(礼状)	若竹善松方	松宮殿	切紙	1	
71	4				3	2	(病氣見舞い等につき書状)	秀二郎拝	松宮尊兄	便箋	1	
71	5	明治33	1900		2	1	(郵便為替にて送金につき書状)	新政商店	松宮商店御中	便箋	1	
71	6				5	15	(返信願につき書状)	高知縣安藝郡津呂村 金澤悦弥太(印)	松宮太郎兵衛様	便箋	1	
71	7				3	20	(開店資金等につき書状)	千川傳七	松宮兄	縦紙	1	
71	8				10	4	(面会等の件につき書状)	北村拝	松宮尊兄	便箋	1	

目録番号			年号	西暦	干支	閏	月	日	標題	作成	宛名	形態	数量	備考
71	9						9	11	(林田一件につき書状)	網内 森丸	溪泉大君	豎紙	1	
71	10								(銀行預け入れの件につき書状)	鶴之助	松宮大人	便箋	1	
71	11								(俳句書上につき書状)	湯浅 鉄雄	湯隣會御中	便箋	1	
71	12				旧		8	6	(注文の品につき返答書)	富田浦 五右衛門	松宮太郎兵衛様	便箋	1	
71	13						3	27	(芋糸等大至急積入れ依頼につき書状)	新谷政助	松宮商店御中	便箋	1	
71	14						7	24	(短歌の評価につき書状)	竹中虎兼生	松宮清口郎様	豎紙	1	
71	15						1	20	(豪州における輸出入品売買につき書状)	在東京通り塩町十一番地 鈴荒保家拜	松宮御主人様	便箋	1	
71	16								(書状)			豎紙	1	
71	17								(極上の網等注文書)			便箋	1	
71	18						10	6	(送別会出席依頼につき照会)	幹事 堀内 衣川	松宮君	便箋	1	
71	19				旧		7	21	(注文の網系につき依頼状)	成田治郎兵衛(印)	松宮太郎兵衛様	豎紙	1	
71	20	明治)14	1881				10	23	(礼状)	衣奈浦ニテ 玉勇 雄次郎	忝宮御旦那様	豎紙	1	
71	21				旧		3	10	(網の大きさにつき調査願)	文五郎	湯浅御蔵町網商様	豎紙	1	
71	22				旧		10	3	(依頼状)	□□七太夫	松宮太郎兵衛様	便箋	1	

目録番号	年号	西暦	干支	閏	月	日	標題	作成	宛名	形態	数量	備考
72							(土地売却証文等一括)			綴	6	
72	1	明治10	1877			6 19	記(品物受取済みにつき一札)	西部両三郎 代理 長家万助(印) 粟生与三兵衛(印)	数見清七殿 代理 岩崎吉左衛門殿	便箋	1	
72	2	明治22	1889			第1 27	賣り渡証券	法眼熊右衛門(印)	松宮太郎兵衛殿	便箋	1	
72	3	明治22	1889			3 20	約定証(田地復元につき)	辻本次三郎(印)	松宮太郎兵衛殿	便箋	1	
72	4	明治24	1891			7 12	証(月々の賄料につき一札)	数見政四郎(印)	堀内佑太郎殿 賛成 (印)、松宮太郎兵衛 殿、数見佐兵衛殿(印) 他1名	豎紙	1	▼証券印紙あり
72	5	明治24	1891			7 13	誓約証(地所家屋売却につき)	数見政四郎(印)	松宮太郎兵衛殿	豎紙	1	
72	6	明治)28	1895			8 2	記(見本網送付につき)	吳港和庄町 土本十右衛門[印]	紀州 松宮太郎兵衛殿	豎紙	1	
73							(借用証文一括)			綴	30	
73	1						(新聞断簡)			単票	1	
73	2	明治22	1889			10 22	借入金證書(金48円につき)	有田郡湯浅村大字湯浅 借主 新網 文右衛門(印)、全郡全村大字湯浅 證人 根来長兵衛(印)	有田郡湯浅村大字湯浅 貸主 松宮太郎兵衛殿 代人 岩崎祐三郎殿	便箋	1	▼証券印紙あり
73	3	明治 7	1874			11	金借用一札之事(金200円につき)	第一大區八ノ小區 紀三井寺村 岩崎文右衛門(印)	第五大區二ノ小區 湯浅浦 松宮多郎兵衛殿	豎紙	1	▼包紙あり▼印紙あり
73	4	明治 9	1876			第2 1	借用證書(金250円につき)	衣奈浦 角谷次郎兵衛(印)	松宮太郎兵衛殿	便箋	1	▼印紙あり
73	5	明治10	1877			1 29	(地租等覚)		松宮太郎兵衛殿	折紙	1	

目録番号			年号	西暦	干支	閏	月	日	標題	作成	宛名	形態	数量	備考
73	6		明治10	1877			第9	27	年賦借用證(金16円80銭につき)	島壽仙助(印)	松宮太郎兵衛殿	縦紙	1	▼印紙あり
73	7		明治11	1878			第11	27	借用証券(金20円につき)	大阪府第二大区七小区高津町六番町 細田豊吉(印)	和歌山縣第五大区二小区湯浅村 松宮太郎兵衛殿	便箋	1	▼印紙あり▼切紙(包紙)あり
73	8		明治12	1879	卯				借用証(金10円につき)	木下庄兵衛(印)	松宮太郎兵衛殿	便箋	1	
73	9		明治13	1880			8	16	借入金証(金15円につき)	戸田藤兵衛(印)	松宮太良兵衛殿	縦紙	1	▼印紙あり
73	10					旧		11	(代金・人数等覚)			折紙	1	
73	11		明治14	1881	巳			10	借用証券(金24円48銭につき)	借主 由良平兵衛(印)	松宮太郎兵衛殿	便箋	1	
73	12		明治15	1882			第4	14	借用証(入学金80円につき)	本人 法眼弥之七(印) 請人 同 弥三郎(印)	松宮太郎兵衛殿	縦紙	1	▼貼紙あり
73	13		明治15	1882				12	覚(金10円借用につき)	本熊(印)	口(屋号)様	便箋	1	▼宛名の口は屋号
73	14		明治16	1883				2	借入金証	本人 井関村		切紙	1	
73	15		明治16	1883			第5	11	借入金証(金48円につき)	本人 新網文右衛門(印) 受人 根来長兵衛(印)	松宮太郎兵衛殿	便箋	1	
73	16		明治16	1883				11	証(金11円55銭借用につき)	戸津井村本人 借主 村上武兵衛(印)、同村引受人 坂本庄兵衛(印)、川畑藤七(印)他2名	松宮太郎兵衛殿	便箋	1	▼印紙あり
73	17		明治17	1884				1	借入金之証(金71円60銭につき)	西牟婁郡湊村 本人 綱本大吉(印)、同郡同村 受人 綱本円吉(印)	有田郡湯浅村 松宮太郎兵衛様	便箋	1	▼印紙あり
73	18		明治17	1884	申			1	借用証(金24円29銭につき)	長濱才吉(印)	有田郡湯浅村 松宮太良兵衛殿	縦紙	1	▼印紙あり
73	19		明治17	1884			第5		借入金証(金9円90銭につき)	日高郡塩谷村 大江嘉兵衛(印) 梅木久吉(印)	松宮太良兵衛殿	縦紙	1	▼印紙あり

目録番号	年号	西暦	干支	閏	月	日	標題	作成	宛名	形態	数量	備考
73	20	明治18	1885			1	3 借用証(金32円50銭につき)	淡路国津名郡鳥飼浦 借主 斎藤宗吉(印)	松宮太郎兵衛様	便箋	1	▼証券印紙あり
73	21	明治18	1885		旧	4	9 金子借用証(金50円につき)	淡路国三原郡阿那賀浦 借主 菅百 蔵(印)、全 證人 亀井倉太郎(印)	松宮太郎兵衛殿	便箋	1	▼証券印紙あり
73	22	明治18	1885			11	8 借用証(金21円につき)	山岡六治郎(印)	松宮太郎兵衛殿	縦紙	1	▼証券印紙あり
73	23	明治18	1885			8	20 借入金証(金35円18銭8厘につき)	西牟婁郡下芳養浦 岡野清右衛門(印)	松宮太郎兵衛殿 支配人 北間文助殿	縦紙	1	▼証券印紙あり
73	24	明治18	1885			10	6 借入金証(11円20銭につき)	借用主 土岐弥右衛門(印)	松宮太郎兵衛殿	便箋	1	▼証券印紙あり
73	25	明治19	1886			2	3 借入金証(金10円につき)	湯浅村 津浦傳兵衛(印)	松宮太郎兵衛殿	便箋	1	▼証券印紙あり
73	26	明治19	1886			3	4 借用証(金40円につき)	西牟婁郡田辺江川町 借主 山田重吉(印)	松宮太郎兵衛殿 北間文助殿	縦紙	1	▼証券印紙あり
73	27	明治21	1888			2	2 金子借用証書(金45円につき)	西牟婁郡日置浦字市江 借主 中戸重太郎(印)	有田郡湯浅村 松宮太 郎兵衛殿、代理支配人 口口源七殿	便箋	1	▼証券印紙あり
73	28	明治23	1890			7	14 証(金15円借用につき)	有田郡湯浅村会議員 宮井佐兵衛 (印)、津守小三郎(印)、舟山仁兵衛 (印)他15名	松宮太郎兵衛殿	便箋	1	
73	29	明治30	1897			10	15 借用証(金50円につき)	法眼彌兵衛(印) 法眼鶴之助(印)	松宮太郎兵衛殿	縦紙	1	▼貼紙あり
73	30	明治36	1903			9	14 借用証書(金105円84銭につき)	有田郡湯浅村大字湯浅 借主 松宮 太郎兵衛(印)、全郡全村全字 証人 北村秀二郎(印)	真楽寺講話人 花ノ和助殿	便箋	1	▼収入印紙あり
73	31	明治37	1904			2	2 証(金16円借用につき)	紀伊國東牟婁郡太地村大字太地 寺本定吉(印)	松宮太郎兵衛様	便箋	1	▼収入印紙あり
73	32	明治44	1911			8	13 証(金14円借用につき)	真楽寺住職 牲川好精(印)、全總代 人 土岐房治郎(印)	松宮太郎兵衛殿	便箋	1	
73	33						借入金証書(金22円50銭につき)	日高郡北道村 森本彦七(印)	松宮多郎兵衛殿 支配人 北間文助殿	縦紙	1	▼収入印紙あり

目録番号	年号	西暦	干支	閏	月	日	標題	作成	宛名	形態	数量	備考	
74	1	明治29	1896			9	7	遺産相続二付登記願 有田郡湯浅町大字湯浅 亡實父 井上四郎兵衛、相続人 井上熊擇(印)、全郡全町大字湯浅 親族 松宮太郎兵衛(印)、全郡全町大字湯浅 親族 法眼熊右衛門(印)	和歌山區裁判所湯浅出張所御中	単票	2	▼同一史料2点	
74	2	明治29	1896			9	7	遺産相続二付登記願 有田郡湯浅町大字湯浅 亡實父 井上四郎兵衛、相続人 井上熊擇(印)、全郡全町大字湯浅 親族 松宮太郎兵衛(印)、全郡全町大字湯浅 親族 法眼熊右衛門(印)	和歌山區裁判所湯浅出張所御中	単票	2	▼同一史料2点▼2点目貼紙あり	
75	1							(借用金督促につき書状)		便箋	1		
75	2				旧	4	21	(勘定計算につき)	磯田拝(印)	松宮御旦那様	縦紙	1	
75	3					11	2	(延滞金の件につき書状)		便箋	1		
75	4							(麻の配送延着につき伺)	黒川傳八 麻方	松宮太郎兵衛様	便箋	1	
75	5					6	26	(網代金支払延引につき依頼状)	栖原久重郎拝	松宮太郎兵衛様	便箋	1	
76				午		5		(金銭貸付覚)			横帳	1	
77				午		5		覚(金銭出納につき)			横帳	1	
78				戌		3		(金銭出納覚)			横帳	1	
79				巳		8		(金銭貸付覚)			横帳	1	
80				午		5		諸入用覚日記			横帳	1	

目録番号	年号	西暦	干支	閏	月	日	標題	作成	宛名	形態	数量	備考	
81	巳年		巳		6	19	網届仕出シ帳	網屋 五郎右衛門	民政局御役所様	横半帳	1	▼欠損あり	
82			午		5		午五月 九月迄 羽野屋長兵衛方勘定帳	後見 仙助 甚六		横帳	1		
83			午		11		羽ノ長兵衛方出入勘定写			横帳	1	▼貼紙複数あり	
84	明治15	1882			第3	29	第巻号 明治十五年計算表	立會人 池永右馬太郎、児嶋惣九郎、井上四郎兵衛他5名		横帳	1		
85	1	大正 4	1915			3	2	領收證(貸付金3000円にて完済につき)	和歌山市北汀丁貳番地 株式会社 和歌山縣農工銀行、右法定代理人 取締役頭取 谷井勘藏(印)	有田郡湯浅町大字湯浅 松宮太郎兵衛殿	便箋	1	▼収入印紙あり▼[和歌山縣農工銀行]印あり
85	2	大正 4	1915			3	10	内訳(田畑等登記につき)	代書人 坂本繁太郎(印)	和歌山區裁判所湯浅出張所	帳面類	1	▼宛名は登記印より
86		明治43	1910			3	5	第壹萬五千四百六拾号 不動産抵當権設定金銭貸借契約公正證書	和歌山地方裁判所所属 和歌山市廣瀬通丁 公證人 芳賀毅		帳面類	1	
87	1							公正證書	粟飯原公證人役場		豎紙	1	▼表紙
87	2	大正 4	1915			3	2	第七千五百貳拾四号 定期償還金貸借契約公正證書	和歌山地方裁判所所属 和歌山三番丁 公證人 粟飯原榮[印]	和歌山県有田郡湯浅町 大字湯浅網商 松宮太郎兵衛	帳面類	1	
88		明治39	1906			9		臨時支出簿	松宮商店		単票	1	▼欠損あり
89		文久 1	1861	酉		冬		酒秘傳扣			横半帳	1	
90		安政 2	1855	卯		12		御仕入方拝借銀返上納通	網屋 中間中		横半帳	1	▼覚1通挟み込みあり
91		明治11	1878			3		漁吉講立換金記			帳面類	1	

目録番号	年号	西暦	干支	閏	月	日	標題	作成	宛名	形態	数量	備考
92							(金円預かり証等一括)			綴	10	
92	1	明治10	1877			11	預證券(謹身講集金、金4円につき)	本人 真楽寺印 受人 丸野与惣兵衛(印)	松宮太郎兵衛殿	便箋	1	▼真楽寺の(印)は住職の苗字
92	2						証書巻通			切紙	1	▼包紙か
92	3	明治16	1883		第5	17	預り証(金20円につき)	壮立舎[印] 支配人 湯浅口量蔵(印)、井上四郎兵衛(印)	松宮太郎兵衛殿	縦紙	1	
92	4	明治18	1885		第1	10	預り証(金40円につき)	千川傳七(印)	松宮太郎兵衛殿	縦紙	1	
92	5	明治18	1885			11	3 証(金3800円代金につき)	法眼弥兵衛(印)	塩路半兵衛殿	縦紙	1	
92	6	明治18	1885			12	4 預り証	本人 井上量蔵[印] 証人 竹中新太郎(印)	千川傳七殿	帳面類	1	
92	7	明治18	1885			12	5 確証(金2838円77銭につき)	本人 井上量蔵[印] 証人 竹中新太郎(印)	千川傳七殿	便箋	1	
92	8	明治18	1885		第12	1	確証(地所建屋買受につき)	本人 井上量蔵[印]、証人 井上四郎兵衛(印)、法眼弥兵衛代理 法眼弥壮兵衛(印)	千川傳七殿	帳面類	1	
92	9	明治18	1885		第4	24	寄附願(中等学校へ日本外史10部寄付につき)	有田郡湯浅村 松宮太郎兵衛(印)、有田郡第七番学区学務委員 阿瀬卯兵衛(印)、湯浅村外四ヶ村 戸長山本好敬[印]	有田郡長 野田四郎殿	便箋	1	
92	10					28	証(14円60銭につき)	口店		切紙	1	
93		明治18	1885		第12	5	總理委任状	千川傳七(印)	井上量蔵殿	便箋	1	▼証券印紙あり
94	1	明治18	1885			4	湯第百七号 建物書入質証文之事(金65円につき)	有田郡湯浅村 借主 松宮太郎兵衛(印)、代筆 宮本加一郎[印]、全郡全村 證人 北村三右衛門(印)	護法講証文預り 全郡全村 赤桐善右衛門殿	縦紙	1	▼明治21年11月29日取消▼裏書あり

目録番号	年号	西暦	干支	閏	月	日	標題	作成	宛名	形態	数量	備考	
94	2	明治18	1885			4	4	湯第百六号 地所書入質證文之事(金15円につき)	有田郡湯浅村 借主 松宮太郎兵衛 (印)、全郡全村 證人 北村三右衛 門(印) 代筆 宮本加一郎[印]	護法講世話人 證文預り 全郡全村 赤桐善右衛門殿	単票	1	▼明治21年11月29日取 消▼裏書あり
94	3	明治18	1885			4	4	湯第百七号付属 明治十八年四月四日書入(有田郡湯浅村字濱町 建物につき)	和歌山縣有田郡湯浅村 建物持主 松宮太郎兵衛(印)	護法講證文預り 全郡 全村 赤桐善右衛門殿	切紙	1	
95	1	明治34	1901			11	1	収入印紙売下免許申請書	和歌山縣有田郡湯浅町 郵便切手売下人 松宮太郎兵衛(印)	大阪郵便電信局御中	便箋	1	▼裏面書付あり
95	2					10	23	(10月23日払日につき書付)			切紙	1	
95	3	明治35	1902					金円受取証(「アグリ」網代金433円につき)	本人 梓谷三右衛門(印)、証人 野下新藏(印)、秋田稔(印)他1名	松宮太郎兵衛殿	単票	1	▼収入印紙あり
96						4	26	(竹馬の友として文通したく一筆啓上)	真一拝	茂一郎盟兄	継紙	1	
97		明治25	1892			11	19	遊漁届(海面遊漁につき)	湯浅村大字湯浅 松宮	有田郡長 野田四郎殿	便箋	2	▼同一史料2点
98	1	明治18	1885			12	4	預り証(大福帳新貸金×高金1413円36銭5厘およ び覚帳新貸金×高金602円63銭8厘につき)	本人 井上量藏[印] 証人 竹中新太郎(印)	千川傳七殿	便箋	1	
98	2	明治29	1896			10	2	預り金證書(金297円70銭につき)	有田郡湯浅町 松宮太郎兵衛	花田一郎右衛門殿 中林壮右衛門殿 角木忠右衛門殿	切紙	1	
99	1	明治17	1884			6	3	約定証書(金200円につき)	日高郡大引浦 本人 神田四郎兵衛 (印)、證人 田市崑平治(印)、全 神田善治郎(印)	松宮太郎兵衛殿	豎紙	1	▼印紙あり▼貼紙あり
99	2	明治20	1887			第3	16	約定証(金円返済期限延期につき)	あはじ津名郡鳥飼浦 山岡六治郎(印)	松宮太良兵工様	豎紙	1	▼証券印紙あり
99	3	明治20	1887			第3	16	約定証(金円返済期限延期につき)	淡路国津名郡鳥飼浦 斎藤宗吉(印)	松宮太良平様	豎紙	1	▼証券印紙あり
99	4	明治23	1890			4	20	約定証(借入金につき)	有田郡湯浅村 法眼弥兵衛(印)	池永茂一郎殿	便箋	1	▼証券印紙あり

目録番号	年号	西暦	干支	閏	月	日	標題	作成	宛名	形態	数量	備考
100							(約束手形)			綴	2	
100	1	明治27	1894			1 21	第1号 約束手形(金965円につき)	湯浅村 引綱吉左衛門(印)	松宮太郎兵衛殿	単票	1	
100	2						第壹号 約束手形(金37円30銭につき)	日高郡切目村 媛口新助(印)	忝宮太郎兵衛殿	単票	1	
101		明治17	1884			8 12	辞任御願(劇症神経痛発症につき戸長辞任願)	湯浅村外四ヶ村戸長 松宮太郎兵衛	和歌山縣令 松本鼎殿	便箋	1	
102							(網太商店取引関係書状綴)			綴	2	
102	1						(麻糸見本送付の件につき書状)			便箋	1	▼「網太商店用紙」
102	2					7 25	(照会の綿網につき書状)	網太商店	松宮太郎兵衛様	便箋	1	▼「網太商店用紙」
103							(松宮商店取引関係書状一括)			綴	3	▼「松宮商店」用箋
103	1	明治24	1891			1 11	(麻方より取引関係書状)			便箋	1	▼「松宮商店」用箋
103	2	明治24	1891			3 30	(取引の件につき書状)	在串本 源七拜	松宮商店御中	便箋	1	▼「松宮商店」用箋
103	3	明治32	1899			8 15	(書入物件差押えにつき委任状並びに証書送付願)	松宮太郎兵衛	吉木君	便箋	1	▼「松宮商店」用箋
104		明治27	1894			7 5	受取書(大有舎通帳1冊につき)	田栖川村大字栖原 栖原半藏(印)	湯浅村大字湯浅 松宮太郎兵衛殿	便箋	1	▼「松宮商店」用箋
105		明治26	1893			4 17	貸金請求ノ訴状	原告訴訟代理人 橋由太郎		綴	7	
105	1	明治26	1893			4 17	貸金請求訴	橋由太郎[印]	和歌山區裁判所 判事 高田直義殿	便箋	1	

目録番号	年号	西暦	干支	閏	月	日	標題	作成	宛名	形態	数量	備考	
105	2	明治26	1893			4	17	訴訟委任状寫	名草郡黒江村 多田宇兵衛 ^印		便箋	1	▼ ^印 は原文ママ
105	3	明治17	1884			11	6	附属証 甲第壹号 借用証 甲第二号 約定証	橘由太郎[印]		便箋	1	
105	4	明治26	1893			5	10	有体動産仮差押解放命令	和歌山區裁判所 判事 宮田直義 書記 指間勳一郎[印]		便箋	1	
105	5	明治26	1893			4	17	有体動産仮差押命令	和歌山區裁判所 判事 宮田直義 書記 指間勳一郎[印]		便箋	1	
105	6	明治26	1893			4	20	送達狀(仮差押命令につき)	和歌山區裁判所執達吏 代理 千田兵助(印)	法眼弥兵工殿	単票	1	
105	7	明治26	1893			5	15	送達狀(仮差押解放命令につき)	和歌山區裁判所執達吏 代り □□□□□(印)	法眼弥兵衛殿	単票	1	
106		安政 4	1857	巳		7		一札之事(金子5両借用につき)	本人 栩の長五郎(印) 受人 同 長右衛門(印)	網屋太郎兵衛殿	豎紙	1	
107		文政 7	1824	申		5		預り申銀子之事	預り主 角野長五郎(印)	栩野長兵衛殿	切紙	1	
108		明治)32	1899			11	4	證(金15円借用につき)	大引 坂口源右衛門(印)	松宮太郎兵衛殿	切紙	1	
109		明治21	1888			第6		證(金500円寄贈につき)	北村三右衛門(印)	松宮太郎兵衛殿	豎紙	1	▼包紙あり
110		明治17	1884			第7		金借用証(金20円につき)	エナ 角屋七兵衛(印)	松宮太郎兵衛殿	豎紙	1	▼包紙あり▼収入印紙あり
111	1	明治30	1897			3	6	證(金15円借用につき)	法眼熊右衛門(印)	松宮太郎兵衛殿	豎紙	1	▼包紙あり▼111-2と同封
111	2	明治30	1897			1	31	證(金15円借用につき)	法眼熊右衛門(印)	松宮太郎兵衛殿	切紙	1	▼包紙あり▼111-1と同封
112		安政 3	1856	辰		霜		本銀返し證文之事	津久野浦本人 太郎太夫(印) 同浦證人 芳三郎(印) 同浦引受人 安五郎(印)他1名	覚右衛門殿	繼紙	1	

目録番号	年号	西暦	干支	閏	月	日	標題	作成	宛名	形態	数量	備考
113	1	明治31	1898			8 24	(公証嘱託の諸条件確認につき書状)	和歌山市廣瀬通り町 公證人 芳賀毅	松宮太郎兵衛殿	継紙	1	▼公證人芳賀毅役場封筒あり▼年号は消印より
113	2	明治31	1898			8 31	(網書入契約の公証嘱託につき書状)	芳賀公證人[印]	松宮太郎兵衛殿	継紙	1	▼封筒あり▼年号は封筒より
114		明治 8	1875	亥		5	借用申金子之事(金8円につき)	本人 戸田藤兵衛(印) 上野伊左衛門(印) 橋本甚助(印)	松宮太良兵衛殿	便箋	1	
115		明治21	1888		第11	11	証(金10円借用につき)	数見佐兵衛(印) 塩路半兵衛(印) 数見差七(印)	松宮太郎兵衛殿	便箋	1	
116		明治17	1884		旧	正 17	借入金年賦証(金30円につき)	衣奈浦本人 門端七右衛門(印) 同村引受人 藤田基助(印)	湯浅村 松宮多郎兵衛殿	便箋	1	▼包紙「衣奈浦 門端七右衛門證書」とあり
117		明治 8	1875		第8	29	借用申證文之事(金43円61銭5厘につき)	宗助	御本家	縦紙	1	▼包紙あり
118							(長久講等掛金受取覚ならびに書状一括)			綴	9	
118	1			丑		3 24	覚(長久講掛金5円につき)	湯浅次兵衛油店(印)	児嶋庄右工門殿	切紙	1	
118	2			寅		1	覚(五日講掛金2円につき)	商會社(印)	小間物屋惣助殿	切紙	1	
118	3			卯		3	覚(五日講掛金2円につき)	商會社(印)	小間物屋惣助殿	切紙	1	
118	4			辰		1 16	覚(水漁講掛金2円につき)	十人座名代 井上四郎兵衛(印)	小川惣助殿	切紙	1	
118	5			辰		1 16	覚(水漁講掛金2円につき)	十人座名代 井上四郎兵衛(印)	小川惣助殿	切紙	1	
118	6			辰		1 16	覚(水漁講掛金2円につき)	十人座名代 井上四郎兵衛(印)	小川惣助殿	切紙	1	

目録番号	年号	西暦	干支	閏	月	日	標題	作成	宛名	形態	数量	備考
118	7		辰			2	覚(五日講掛金2円につき)	商會社名代 井上四郎兵衛(印)	小川惣助殿	切紙	1	
118	8		辰			8	覚(五日講掛金2円につき)	十人座名代 井上四郎兵衛(印)	小川惣助殿	切紙	1	
118	9	明治15	1882			4	8 (一時返済につき書状)	貞口方		継紙	1	
119		明治13	1880			6	3 記(金10円返納につき)	井上四郎兵衛	松宮仙助殿	切紙	1	▼包紙あり
120		明治21	1888				明治廿一年 利子金受取通	北村三右衛門	松宮太郎兵衛殿	横半帳	1	
121		嘉永 6	1853	丑		12	借用申銀子之事	忠岡浦 網屋 六左衛門(印) 同證人 宗右衛門(印)	紀昴御仕入網屋 長太郎殿	縦紙	1	
122		慶應 3	1867	卯		5	本銀返し證文之事	本人湯浅村 卯兵衛(印) 證人同村 長右衛門(印) 同村庄屋 自老兵衛(印)他6名	買主同村 太郎兵衛殿	継紙	1	▼裏面貼紙あり
123							一 借用之事(金5両につき)	栩ノ長兵衛(印)	網屋仙助様	縦紙	1	
124		安政 5	1858	午		6	借用申一札之事(金20両につき)	本人 長兵衛(印) 受人 長太郎(印)	油屋傳七殿	切紙	1	
125		明治26	1893			5	16 物品預り証	本人 法眼弥兵衛(印) 証人 井上四郎兵衛	松宮太郎兵衛殿	便箋	1	
126		明治22	1889			2	4 明治廿一年度分 損益計算			継紙	1	
127							(漁網および麻糸類販売契約書ならびに書状一括)			綴	4	
127	1	明治34	1901			3	23 (販売契約につき書状)	愛知縣尾張國知多郡豊濱村 網太商店	紀州有田郡湯浅町 松宮太郎兵衛様	便箋	1	▼年号月日、作成、宛名 は封筒より

目録番号		年号	西暦	干支	閏	月	日	標題	作成	宛名	形態	数量	備考
127	2	明治34	1901			3		契約書(松宮太郎兵衛製造漁網および麻糸類販売契約締結につき)	愛知縣尾張國知多郡豊濱村 山本太次兵衛(印)		便箋	1	
127	3	明治34	1901			3	27	契約書(松宮太郎兵衛製造漁網および麻糸類販売契約締結につき)	紀州有田郡湯浅町 松宮太郎兵衛		便箋	1	▼欄外に「山本へ送りタル控」と記入あり
127	4	明治34	1901			3	27	(書状)	松宮太郎兵衛	山本御主人閣下	便箋	1	
128								(漁具送り状一括)			綴	7	
128	1					3	22	記(筵包、大阪まで運賃14銭領収につき)	(大阪商船株式会社箕島扱店)	ユアサ町 松宮様	便箋	1	▼作成は印より▼「大阪商船株式会社は第二号甲用紙」使用
128	2					8	22	記(筵包代金53円領収につき)	(大阪商船株式会社箕島扱店)	松宮商店御中	便箋	1	▼作成は印より▼「大阪商船株式会社は第二号甲用紙」使用
128	3	明治32	1899		旧	10	22	記(指網2反につき)	衣奈村 御影文五郎(印)	湯浅町 松宮太郎兵衛殿	切紙	1	
128	4				旧	9	7	記(網そ2個受取につき)	日高郡切目村大字西之地 早田梅吉(印)	湯浅町 松宮太郎衛殿	切紙	1	▼宛名は原文ママ
128	5				旧	9	22	證(網等受取につき)	あじろ 濱口 孫平[印](「浜忠」)	松宮太郎兵衛殿	切紙	1	
128	6	明治19	1886			8	3	送り状之事	原為七[印]	松宮多郎兵衛様	切紙	1	▼印紙あり
128	7	明治19	1886		旧	12	朔	記(網30反につき)	久保田忠右衛門(印)	湯浅 松宮太郎兵衛殿	切紙	1	
129		明治36	1903			8	22	(三重製網所取引関係書状)	三重縣四日市市 (社章)三重製網所	松宮太郎兵衛様	便箋	1	
130		明治32	1899			10	10	郡會議員当選告知書	有田郡湯浅町選挙区選挙長 湯浅町長 阿瀬外兵衛[印]	湯浅町 松宮太郎兵衛殿	便箋	1	

目録番号	年号	西暦	干支	閏	月	日	標題	作成	宛名	形態	数量	備考
131							(衆議院議員補欠選挙投票立会につき通知)			綴	2	
131	1	明治33	1900			11 28	湯第二九九号一五 (衆議院議員補欠選挙投票立会につき通知)	有田郡湯浅町投票所管理 湯浅町長 池永右馬太郎[印]	松宮太郎兵衛殿	便箋	1	
131	2	明治33	1900			11 28	湯第二九九号一六 (衆議院議員補欠選挙投票立会につき通牒)	有田郡湯浅町投票所管理 湯浅町長 池永右馬太郎[印]	立会人 松宮太郎兵衛殿	便箋	1	
132							(書状綴)			綴	10	
132	1	明治23	1890			8 30	(代金送金の件につき書状)	菅野平兵衛拜	松宮御主人様 御支配 源七様	便箋	1	
132	2	明治25	1892			5 10	(代金為替にて送付の件につき書状)	井上量蔵	松宮太郎兵衛様	便箋	1	
132	3					12 10	(礼状)	大阪市西区南堀江壱番町 (屋号)藤本太四郎	松宮太郎兵衛様	便箋	1	▼屋号は「二重笠にさ」
132	4	明治28	1895			4 28	(礼状)	久保田與市	松宮太良兵衛様	便箋	1	▼「大阪久保田店便箋」
132	5	明治32	1899			6 5	(本日「トラキチタノム」の打電送付につき書状)	鈴鹿保家	松宮多郎兵衛様貴下	便箋	1	▼「東京深川区佐賀町 鈴鹿商店出張所用箋」
132	6	明治32	1899			9 3	(品代送付の件につき書状)	(麻苧商 佐々木忠兵衛)		便箋	1	▼「麻苧商 佐々木忠兵衛」用箋
132	7	明治33	1900		旧	2 18	(老大人様ご逝去の知らせにつき書状)	大阪木津川 亀齡丸乗組 辻鶴姿	松宮太郎兵衛様	便箋	1	
132	8	明治35	1902			12 23	(滞在願)	井上勇吉拜	松宮若大将様	便箋	1	
132	9	明治38	1905			2 23	(代金関係につき書状)	武田文平商店	松宮商店各位御中	便箋	1	▼「徳島川口津田武田 商店」用箋

目録番号	年号	西暦	干支	閏	月	日	標題	作成	宛名	形態	数量	備考
133	明治29	1896			3	18	(住友銀行取引関係につき書状)	井上四郎(印)	松宮継父様	便箋	1	▼「住友銀行用箋」
134			戌		11		覚(銀受取につき)	仮屋文左衛門(印)	湯浅村 長左工門殿	切紙	1	
135					7	21	(奉公口依頼につき書状)	寅吉	御本家様	便箋	1	
136							(松宮商店取引関係書状綴)			綴	9	
136	1	明治26	1893		12	31	(蜜柑到着御礼につき挨拶状)			便箋	1	▼「松宮商店」用箋
136	2	明治27	1894		1	1	(新年につき挨拶状)		御両老人閣下 茂一郎 政 幸乃どの	便箋	1	
136	3	明治32	1899		4	16	(書状返信依頼につき願)	松宮太郎兵衛	柿木様方 衣川芳三郎様	便箋	1	
136	4	明治32	1899		6	17	(書状返信願)		忠谷御主人閣下	便箋	1	
136	5	明治34	1901		3	8	(山本太次兵衛宛書状)	松宮太郎兵衛	山本太次兵衛様 待史	便箋	1	▼「松宮商店」用箋
136	6						(書状下書き)			便箋	1	▼「松宮商店」用箋
136	7						(書状下書き)			便箋	1	▼「松宮商店」用箋
136	8						(書状下書き)			便箋	1	▼「松宮商店」用箋
136	9						(書状下書き)			便箋	1	▼「松宮商店」用箋

目録番号	年号	西暦	干支	閏	月	日	標題	作成	宛名	形態	数量	備考
137							覚(預け金受取につき)			綴	4	
137	1	安政 5	1858	午		7	覚(預け金受取につき)	本人 長兵衛(印) 證人 長右工門(印) 後見人 仙助(印)他1名	網屋 清七殿	切紙	1	
137	2			午		9	晦 覚(預け金受取につき)	本人 栩ノヤ長兵衛(印) 後見人 仙助(印)	網屋清七殿	切紙	1	
137	3			午		10	覚(預け金受取につき)	本人 栩ノヤ長兵衛(印) 後見人 甚六(印) 仙助(印)	網屋清七殿	切紙	1	
137	4			午		5	13 覚(預け金受取につき)	仙助(印) 甚六(印)	庄屋 清左衛門殿	切紙	1	
138		明治22	1889			4	4 新規荷車御検印願	有田郡湯浅村大字湯浅 松宮太郎 兵衛(印)、元湯浅村外四ヶ村 元戸長 山本好敬[印]	有田郡長 野田四郎殿	便箋	1	
139	1			子		9	15 仕切状(生節等につき)	南部屋 清左衛門(印)	浅右衛門殿	継紙	1	
139	2						仕切状(生節等につき)			継紙	1	▼一部欠損
140	1	明治37	1904			9	(赤十字社正社員増募につき勧誘依頼状)	日本赤十字社和歌山支部有田郡委 員部 分區委員 久保瀬七 協賛委員 若尾尚平 同 山田喜太郎他3名	松宮茂一郎殿	単票	1	
140	2	明治37	1904			9	(赤十字社正社員増募につき勧誘依頼状)	日本赤十字社和歌山支部有田郡委 員部 分區委員 久保瀬七 協賛委員 若尾尚平 同 山田喜太郎他3名	松宮まさ殿	単票	1	
141		明治)35	1902			12	證(金10円有田新聞購読料前金として受領につき)	有田新聞社 社主 久保繁太郎(印) 発行人 西廣富五郎[印]	松宮太良兵衛殿	便箋	1	▼収入印紙あり
142		明治23	1890			1	22 (深専寺にて水害対応吏員の慰労のための宴会開 催につき案内状)	發起人 池上儀兵衛 御前七郎右衛門、林正十郎他18名	松宮太郎兵衛様	単票	1	▼裏面書付あり
143		明治24	1891			3	10 旧証御取消願	井上四郎兵衛(印)		便箋	1	

目録番号	年号	西暦	干支	閏	月	日	標題	作成	宛名	形態	数量	備考
144	1	明治23	1890			5 31	約定書(網代金12円88銭につき)	本人 川瀬吉弘(印) 證人 寺井五郎左衛門(印)	松宮太郎兵衛殿	単票	1	
144	2	明治23	1890			5 18	證(網代等金12円88銭につき)	本人 川瀬吉弘(印) 北島松左衛門(印) 証人 寺井五郎左衛門(印)	松宮商店	便箋	1	▼証券印紙あり
145						第11 26	(深専寺において親睦会の冬季宴会開催につき通知)	親睦會幹事		便箋	1	▼裏面「永井源平、十七年三月三十日■」の書付あり
146		明治16	1883			6 30	明治十五年六月分計算(日掛金、入金等金額)	立會人 児島惣九郎 池永右馬太郎 千川傳七他3名		横帳	1	
147		明治17	1884				(清酒送り状)			綴	2	
147	1	明治17	1884			第7 2	送り証(清酒若寺10樽につき)	原為七[印]	湯浅御蔵町 松宮多郎兵衛様 御店安兵衛様	継紙	1	▼印紙あり
147	2					第7 26	送り状之事(清酒15樽につき)	原為七[印]	湯浅 松宮太郎兵衛様 御店安兵衛様	継紙	1	
148							(金子借用証文一括)			綴	10	
148	1	文化 2	1805	丑		9	借用申金子之事	借り主 甚兵衛(印) 受人 茂兵衛(印)	菰野 長太郎殿	豎紙	1	
148	2	文化13	1816	子		6	覺(頼母子講掛銀250目請取につき)	廣中買奉行司 片山 三郎兵衛 (印)、濱屋 広三郎(印)、同世話人 五嶋屋 藤兵衛(印)他4名	湯浅 羽野長太郎殿	豎紙	1	
148	3	文政13	1830	寅		霜	借用申証文之事	堺出しま 高田佐兵衛(印)	紀州 網屋長太郎殿	豎紙	1	
148	4	天保 8	1837	酉		8	借用申一札之事	吉川村 次兵衛(印)	湯浅 長太郎殿	豎紙	1	
148	5	天保14	1843	卯		8	借用申一札之事	日高和田浦 兵吉(印)	網屋長太郎殿	豎紙	1	

目録番号	年号	西暦	干支	閏	月	日	標題	作成	宛名	形態	数量	備考
148	6	嘉永 2	1849	酉	閏	4	手形一札之事	西丹生圖村本人 与兵衛(印) 同村證人 定右衛門(印)	長太郎殿	豎紙	1	
148	7	嘉永 3	1850	戌		12	借用申銀子之事	泉郡津田浦 本人 久次郎(印) 同所 證人	紀州御仕入 網屋長太郎殿	豎紙	1	
148	8	嘉永 4	1851	亥		12	連印を以借用申證文之事	岡田屋 幸左衛門 岡田屋 弥右衛門	紀州御仕入 網屋長太郎殿	豎紙	1	
148	9			丑		2	借用申一札之事(網代につき)	借用主 網屋半兵衛(印) 証人 庄屋伊兵衛(印)	御仕入方 網屋長太郎様	豎紙	1	
148	10			申		10	借用申一札之事	吉川村 紀右工門(印)	羽野長太郎殿	豎紙	1	
149							(網類大安売につき広告)	網屋仙助變改 忝宮太郎兵衛		単票	4	▼同一史料4点
150						3	21 (戸長改選につき公用日記)			帳面 類	1	
151							(借銀返済証文一括)			綴	2	
151	1	明治 4	1871	未		4	本銀返證文之事	本人湯浅村 藤ノ伊兵衛(印)、同 利兵衛(印)、“村 肝煎 丸野長次 郎(印)他4名	買主 同村 松宮太郎 兵衛殿	単票	1	
151	2	明治 4	1871	未		4	本銀返證文之事	本人湯浅村 藤ノ伊兵衛(印)、同 利兵衛(印)、“村 肝煎 丸野長次 郎(印)他4名	買主 同村 松宮太郎 兵衛殿	単票	1	▼151-1と同一内容
152		明治19	1886			8	26 明治十九年第三十七号 裁判言渡書(預け金取戻訴状審理につき)	書記 植山廣業[印]		帳面 類	1	▼[印]は四角圏に印▼ 正本からの謄写本
153	1						魯領樺太漁業一班抜萃			便箋	1	▼表紙
153	2						魯領樺太薩哈噠島漁業一班 抜萃			帳面 類	1	

目録番号	年号	西暦	干支	閏	月	日	標題	作成	宛名	形態	数量	備考
154	明治14	1881			1	22	第百三拾九号 裁判言渡書(荷物取戻審理につき)	大阪裁判所[印]		帳面類	1	▼「民事課」印あり
155	明治39	1906			1		明治三拾九年壹月(三十八年度)決算書類艸稿	松宮家		綴	7	
155	1						財産目録			便箋	1	
155	2						貸借対照表			便箋	1	
155	3						藏有品細目表			便箋	1	
155	4						賣掛代金			便箋	1	
155	5						田地			便箋	1	
155	6						所有宅地			便箋	1	
155	7						債権株式所有表			便箋	1	▼工場価格についての記載あり
156	明治24	1891	壬辰		2	3	明治廿四年度計算表 旧正月五日嘉例			横帳	1	
157	寛政6	1794	甲寅		正		譲り證文之事	清七(印) 太郎兵衛(印) 文助(印)	清吉殿	継紙	1	
158	弘化3	1846			3		請合一札之事(魚代金につき)	湯浅 藤蔵(印)	網屋 長太郎殿	縦紙	1	
159							金子借用証文一括			綴	69	

目録番号	年号	西暦	干支	閏	月	日	標題	作成	宛名	形態	数量	備考
159	1	嘉永 4	1851	亥		2 8	借用申一札之事(仕入網代銀につき)	□井浦 九郎兵衛(印) 同 八兵衛(印)	御仕入方 網屋長太郎殿	縦紙	1	
159	2	安政 5	1858	午		6	一札之事(金7両借用につき)	本人 長兵衛(印) 證人 仙助(印) " 長吉(印)	阿美屋清七殿	切紙	1	
159	3	安政 5	1858	午		9	覚(預け金30両につき)	棚ノヤ 長兵衛(印) 後見 仙助(印) " 甚六(印)	網屋清七殿	切紙	1	
159	4	慶應 4	1868	未		4	借用申金子之事	かり主 与七(印) 証人 安治郎(印)	網屋 仙助殿	縦紙	1	
159	5	明治 7	1874		旧	5	借用申金子之事(金64円につき)	借り主 濱本與七(印)	松宮太郎兵衛様	縦紙	1	▼印紙あり
159	6	明治 8	1875			第9 2	借用申金子之事(金21円55銭4厘につき)	網代浦本人 恵長四郎(印) 請人 浦野崋三郎(印)	湯浅村 松宮太郎兵衛殿	便箋	1	▼印紙あり
159	7	明治 8	1875			第9 2	預り申金子之事(金48円につき)	商會社(印) 當番 井上四郎兵衛(印) 法眼弥兵衛(印)	木村半助殿 引受世話人 久保儀兵衛殿	縦紙	1	▼印紙あり
159	8	明治11	1878		旧	10	借用証券(金12円につき)	神谷浦借主 岩崎崋七(印) 受人 中野藤兵衛(印)	湯浅浦 松宮太郎兵衛殿	便箋	1	
159	9	明治15	1882			第1 17	借入金証(金35円15銭につき)	本人 千川傳七(印) 保証人 池永右馬太郎(印) 同 松宮多郎兵衛(印)他1名	□□□右衛門殿	縦紙	1	▼印紙あり
159	10	明治15	1882			1	借入金証書	本人 千川傳七(印) 保証人 池永右馬太郎(印) 同 松宮太郎兵衛(印)他1名		縦紙	4	▼同一史料4点
159	11	明治16	1883			第5 16	借用証書(金24円24銭につき)	あじろ 長濱才吉[印]	松宮太良兵衛殿	縦紙	1	
159	12	明治16	1883			第11 6	借用証書(金88円24銭につき)	日高郡大引浦 金円借用主 坂口源 右工門、石井弥七(印)、磯崎和吉 [印]他4名		便箋	1	▼印紙あり
159	13	明治17	1884	申		1 23	借用証(金11円28銭につき)	永井孫七(印)	有田郡湯浅 松宮太郎兵衛殿	縦紙	1	▼印紙あり

目録番号			年号	西暦	干支	閏	月	日	標題	作成	宛名	形態	数量	備考	
159	14		明治17	1884			第3	7	借入金証(金5円につき)	本人 真楽寺住職 牲川善順[印]、 證人 上野庄次郎(印)、若竹長藏 (印)他1名	松宮太郎兵衛殿	便箋	1		
159	15		明治17	1884			第5	20	借入金証(金47円49銭につき)	西牟婁郡和深浦 横畑弥作(印)	松宮太郎兵衛殿	豎紙	1	▼印紙あり	
159	16		明治17	1884	申	閏		5	1(金7円6銭につき借用証)	和歌山縣下有田郡廣村 五嶋佗兵衛(印)	有田郡湯浅 松宮太良兵衛殿	豎紙	1		
159	17		明治17	1884				6	3	借入金証(金80円11銭につき)	日高郡大引浦 神田四郎兵衛(印)	松宮太郎兵衛殿	豎紙	1	▼印紙あり
159	18		明治17	1884				6	3	借入金証(金122円97銭2厘につき)	日高郡大引浦 西鑑網舟頭、神田四 郎兵衛(印)、西尾長十郎(印)、寺井 伊助(印)他1名	松宮太良兵衛殿	豎紙	1	▼印紙あり
159	19		明治17	1884		旧		8	1	借用証(金500円につき)	西谷孫助	井上四郎兵衛殿	豎紙	1	
159	20		明治17	1884			第8			借用証券(金88円24銭につき)	日高郡大引浦 金円借用主 上出傳 左衛門(印)、大森傳三郎(印)、西久 五郎(印)他3名	松宮太郎兵衛殿	便箋	1	▼印紙あり
159	21		明治)17	1884		旧		9	25	誓約証	神谷村 高橋玄右衛門(印) 同村 中野藤七(印)	湯浅村 松宮太郎兵衛様	豎紙	1	
159	22		明治17	1884	申	旧		9	25	(金18円15銭につき借用証)	和歌山縣下有田郡田村 借主 太田 六郎兵工(印)、同縣同村同郡 借主 太田金藏(印)	同縣有田郡湯浅 松宮太郎兵工殿	豎紙	1	
159	23		明治)17	1884				10	24	証(金40円借用につき)	井上(印)	松宮様	切紙	1	
159	24		明治17	1884	申			12	25	借用証(金23円60銭につき)	湯川文太郎(印)	松宮太郎兵工殿 支配人 戸田保太郎殿	豎紙	1	▼証券印紙あり
159	25		明治17	1884	申	旧		12	27	借用証(金24円26銭につき)	日高郡網代浦 原長四郎(印)	松宮太郎兵衛殿	切紙	1	▼証券印紙あり
159	26		明治18	1885				2	5	借入金証(金46円につき)	西牟婁郡日置浦 借用主 田谷捨平(印)	松宮太郎兵衛殿	便箋	1	▼証券印紙あり

目録番号	年号	西暦	干支	閏	月	日	標題	作成	宛名	形態	数量	備考
159 27	明治18	1885			2	13	證書(網代残金25円借用につき)	阪口源六(印)	湯浅村 松宮殿	便箋	1	▼貼紙あり
159 28	明治18	1885		旧	1	28	借入金証(金20円につき)	本人 日高郡小引浦 西出右之門(印)	松宮太郎兵衛殿	便箋	1	▼証券印紙あり
159 29	明治18	1885		旧	3	29	金子借用二付確約証(金48円9銭2厘につき)	日高郡大引浦 借主 神田四郎兵衛(印)		便箋	1	
159 30	明治18	1885			第5	25	借用証(金26円につき)	淡路津名郡鳥飼村 山岡良吉(印)	紀州湯浅 忝宮太郎兵衛殿 小圃文助殿	縦紙	1	▼証券印紙あり
159 31	明治18	1885	酉		8	11	証(金40円につき借用証)	泉州佐野浦 鎌野與三郎(印)	紀州湯浅 松宮太郎兵衛殿	縦紙	1	▼証券印紙あり
159 32	明治18	1885			第8		借入金証(金25円4銭につき)	日高郡原井戸村 小嶋藤蔵(印)	湯浅 忝宮太郎兵衛殿 北圃文助殿	縦紙	1	▼証券印紙あり
159 33	明治18	1885			10	10	証(金20円の利子受取につき)	日置 五郎吉(印)	松宮太郎兵衛殿	切紙	1	
159 34	明治18	1885			第10	10	借用証(金20円につき)	千川傳七(印)	松宮太郎兵衛殿	便箋	1	▼貼紙あり
159 35	明治19	1886			1		証(金4円20銭のお礼につき)	松田一郎(印)	松宮太郎兵衛様	縦紙	1	
159 36	明治19	1886			2	1	借入金証(金60円につき)	日高郡大引浦 神田四郎兵衛(印)	松宮太郎兵衛殿	便箋	1	▼証券印紙あり
159 37	明治19	1886		旧	3	1	借用証(金2円5銭につき)	兵庫縣下淡路国阿那賀浦 借主 菅 利兵衛(印)、全縣全国全浦 證人 竹谷孝太郎(印)	和歌山縣下紀伊国湯浅 松宮文助殿	便箋	1	
159 38	明治19	1886			第8	7	預り証(金12円につき)	周参見浦 田所浅右衛門(印)	湯浅 松宮太郎兵衛殿	便箋	1	
159 39	明治19	1886			第8	20	譲り渡証	法眼熊右衛門(印)	松宮太郎兵衛殿	縦紙	1	

目録番号			年号	西暦	干支	閏	月	日	標題	作成	宛名	形態	数量	備考
159	40		明治19	1886			第9	5	借用証(金31円28銭9厘につき)	日高郡網代 濱野駒之助[印]	有田郡湯浅村 松宮太郎兵衛殿	縦紙	1	▼証券印紙あり
159	41		明治19	1886				10	1 預り金証(金90円につき)	松宮太郎兵衛(印)	日置浦 五郎吉殿	縦紙	1	▼証券印紙あり
159	42		明治20	1887				2	20 (書状および請取書)	池永九郎左衛門(印)	松宮太郎兵衛様	継紙	1	
159	43		明治20	1887		旧	11	22	証(網代、金116円97銭につき約定証)	日高郡原日浦 中野甚三郎(印)	松宮太郎兵衛殿 代理澤村庄兵衛殿	縦紙	1	
159	44		明治21	1888				12	14 記(金1円50銭貸付につき)	早川崑助(印)	松宮太郎兵衛様	単票	1	
159	45		明治21	1888			第4	25	借家証券	本人 糸川清兵衛(印) 受人 御前源吉(印)	有田郡湯浅村 松宮太郎兵衛様	便箋	1	
159	46		明治22	1889				6	7 証(金5円につき借用証)	井上量蔵(印)	松宮太郎兵衛殿	便箋	1	
159	47		明治22	1889				6	7 証(金13円50銭借用につき)	井上量蔵(印)	松宮太郎兵衛殿	便箋	1	
159	48		明治22	1889				6	7 借入金証(金30円につき)	井上量蔵(印)	松宮太郎兵衛様	便箋	1	
159	49		明治22	1889				10	4 証(預り金50円につき)	栄法丸市兵衛[印]	松宮太郎兵衛殿	便箋	1	
159	50		明治22	1889				10	10 約定書(金10円につき)	和歌山縣日高郡網代浦 浦喜三郎(印)	有田郡湯浅村大字湯浅 松宮太郎兵衛殿 代人 岩崎庄三郎殿	縦紙	1	
159	51		明治24	1891				3	28 証(金7円借用につき)	数見政四郎(印)	松宮太郎兵衛様	便箋	1	
159	52		明治25	1892	辰		旧曆 6	朔	借家証書	日高郡大字玄子村 本人 津村千太郎(印)、有田村大字湯浅 請人 中井甚六(印)	松宮太良兵衛殿	便箋	1	▼「有田村」は原文ママ

目録番号			年号	西暦	干支	閏	月	日	標題	作成	宛名	形態	数量	備考
159	53		明治26	1893			2	16	借用証(金5円につき)	井上四郎兵衛(印)	松宮太郎兵衛殿	便箋	1	
159	54		明治26	1893		旧	7	16	借入金証(金100円、この引当として広目網、小目網につき)	有田郡湯浅村 借主 塚田安太郎	松宮太郎兵衛殿	便箋	1	
159	55		明治27	1894		旧	12	12	借家証(居宅1か所につき)	借主 角ノ清七(印) 引受 田辺吉蔵(印)	松宮太郎兵衛殿	便箋	1	
159	56		明治27	1894			8	24	証(金50円借用につき)	廣野秀二郎(印)	松宮太郎兵衛殿	縦紙	1	
159	57	1	明治27	1894			12	4	証(金銭貸付につき)			切紙	1	
159	57	2					12	6	(書状)			継紙	1	
159	58		明治28	1895			4	30	証(金銭貸付の件につき)	松宮太郎兵衛	阪田七兵衛殿 石井弥七殿 他3名	便箋	1	
159	59		明治28	1895			第6	1	証(金10円借用につき)	千川傳七(印)	松宮太郎兵衛殿	切紙	1	
159	60		明治28	1895		旧	6	12	約定証(金18円借用につき)	西牟婁郡江住村大字江住 藤井常三郎(印)	串本村 松宮支店 城部源七殿	縦紙	1	▼証券印紙あり
159	61		明治28	1895			9	19	證書(金19円69銭借用につき)	東牟婁郡太地村 本人 室井九平次 (印)、同断 室井富吉(印) 受人 楠本八左エ門(印)	松宮太郎兵衛殿	縦紙	1	▼証券印紙あり
159	62	1	明治28	1895			10	17	譲り受証(金600円につき)	城部健吉(印) 敬白	松宮御主人	縦紙	1	
159	62	2	明治28	1895			10	17	委任承諾証(金630円27銭3厘につき)	西牟婁郡串本村 城部健吉(印)	松宮御主人	縦紙	1	
159	63		明治36	1903			10	2	借用証(金10円につき)	湯川平左衛門(印)	松宮太郎兵衛殿	便箋	1	

目録番号			年号	西暦	干支	閏	月	日	標題	作成	宛名	形態	数量	備考
159	64		大正 1	1912			10	26	借用証(金5円につき)	借主 八川亀太郎(印)	貸主 殿	便箋	1	▼宛名に記名なし
159	65				午		10		一札之事	本人 長兵衛(印) 證人 長太郎(印)	網ヤ清七殿	豎紙	1	
159	66						第7	11	借用一札(金1円につき)	丸吉実七	網屋太郎兵衛殿	便箋	1	
159	67						7	17	記(金1円借用につき)	数見政四郎(印)	松宮太郎兵衛殿	便箋	1	
160		慶應 4	1868	辰			6	15	仕切状(生節等につき)	南部屋 清左衛門(印)	栄春丸浅右衛門殿	継紙	1	
161		明治 7)	1874						預ケ金取戻之訴	井上四郎兵衛 松宮太郎兵衛 千川傳七他7名		便箋	1	
162		明治 8	1875				8	29	譲下證書之事(金120円につき)	松宮臣下 宗助 證人 中佐兵衛(印)	御本家	豎紙	1	
163		明治 9	1876				第1	28	証(御蔵米70石預りにつき)	右當村 副戸長 崎山忠左衛門(印)	角谷次郎兵衛殿	切紙	1	
164		明治 9	1876						証(為替手形につき)	竹本栄助(印)	赤桐善右衛門殿	単票	29	▼印紙あり
165		明治11	1878				3	21	年賦證書之事(金26円につき)	第六大区二小区吉原浦 借主 鳥坂和兵衛(印) 證人 鳥坂小平(印)	松宮太郎兵衛殿	豎紙	1	▼包紙、収入印紙あり
166		明治11	1878				10		証(金子引換につき)	小村三右衛門	松宮多郎兵衛殿	単票	26	▼明治11年10月～明治12年2月
167		明治15	1882				6	15	第八拾六号 地所賣渡證文(七等田1段3畝28歩につき)	有田郡湯浅村 売主 法眼口口衛 (印)、代筆 宮本加一郎[印] 證人 法眼熊右衛門(印)	松宮太郎兵衛殿	豎紙	1	▼印紙あり▼承認者として「戸長赤桐善右衛門[印]」あり
168		明治18	1885				第3	29	証(金500円借用につき)	松宮太郎兵衛(印)	法眼弥兵衛殿	便箋	1	▼(印)に×印あり

目録番号	年号	西暦	干支	閏	月	日	標題	作成	宛名	形態	数量	備考
169	明治18	1885			第7	16	記(金66円につき証書)	津井村 中尾崑助(印)	御主人 松宮太郎兵衛様	縦紙	1	
170							(預け金取戻の訴につき書類一括)			綴	6	
170	1	明治19	1886			5	4 預け金取戻之訴	植田幸八(朱印)	和歌山始審裁判所長代理 判事 安達盛貞殿	便箋	1	
170	2	明治19	1886			5	20 預け金取戻之訴	吉本久隆	和歌山始審裁判所長 判事 吉長成徳殿代理 判事 安達盛貞殿	便箋	1	
170	3	明治19	1886			6	6 預け金取戻之訴	植田幸八 [㊟]	和歌山始審裁判所長 判事 吉長成徳殿代理 判事 安達盛貞殿	便箋	1	
170	4	明治19	1886			5	24 預け金取戻訴ノ券	的場尹雄	和歌山始審裁判所長 判事 吉長成徳殿代理 判事 安達盛貞殿	便箋	1	▼標題は原文ママ ▼「成徳」は「盛貞」を修正したもの
170	5	明治19	1886			7	6 計算書	法眼弥兵衛外一名代言人 引合 的場尹雄	和歌山始審裁判所長 吉長成徳殿代理	便箋	1	
170	6						上申書			便箋	1	▼史料破損および欠落あり
171	1	明治19	1886			3	23 第九十九号 證(貸付金利子34円80銭受取につき)	和歌山山崎銀行[印]	松宮太郎兵衛様	単票	1	▼包紙あり▼収入印紙あり
171	2	明治19	1886			9	27 2号 證(利子金33円60銭受取につき)	和歌山山崎銀行[印]	松宮太郎兵衛殿	単票	1	▼包紙あり▼収入印紙あり
172	1	明治20	1887				6号 證(利子金33円60銭受取につき)	和歌山山崎銀行[印]	松宮太郎兵衛殿	単票	1	▼包紙あり▼収入印紙あり▼年号は包紙より
172	2	明治20	1887			3	19 (書状)	山崎銀行[印]	松宮太郎兵衛様	継紙	1	▼包紙あり▼[印]は「貸金係」▼年号は包紙より
173	1						(金子借用につき書状)	井上拝	松宮様	切紙	1	▼包紙あり

目録番号	年号	西暦	干支	閏	月	日	標題	作成	宛名	形態	数量	備考	
173	2	明治20	1887			10	28	借用証(金5円につき)	井上四郎兵衛(印)	松宮太郎兵衛様	縦紙	1	▼包紙あり
174		明治21	1888			3	27	通運物受取証	紀伊國湯浅驛内國通運會社[印]	松宮太郎兵衛殿	単票	1	▼証券印紙あり
175		明治21	1888			3	29	証(利息金31円60銭受取につき)	和歌山 山崎銀行[印]	松宮太郎兵衛殿	単票	1	▼証券印紙あり
176		明治21	1888			8	26	証(金5円借用につき)	法眼弥蔵(印)	松宮太口兵衛殿	便箋	1	▼口は「郎」か
177		明治21	1888			10	17	(金子借用証)	西牟婁郡和深村 横畑彌兵衛(印)	有田郡湯浅村 松宮太郎兵衛殿	切紙	1	▼前欠▼裏面書込みあり
178	1	明治21	1888					証(金500円借用につき)	小澤庄三郎 山崎九一郎 松宮多郎兵衛		縦紙	1	
178	2	明治21	1888					証(金500円借用につき)	小澤庄三郎 松宮多郎兵衛 山崎九一郎		縦紙	1	▼包紙か
179		明治22	1889			3	13	証(金60円受取につき)	吉田長七[印]	栄徳九郎兵衛殿	単票	1	▼証券印紙あり
180		明治22	1889		旧		5	(支払金書上台帳)	[湯浅網商組合]		横半帳	1	▼証券印紙あり
181		明治24	1891				4	仕切記(梅縦につき)	栗山佗助[印]	松宮旦那様	縦紙	1	▼証券印紙あり
182	1	明治25	1892			9	4	(金10円借用につき書状)	秀二郎	松宮尊兄	継紙	1	▼年号は182-2より
182	2	明治25	1892			9	4	証(金10円借用につき)	廣野 秀二郎(印)	松宮太郎兵衛様	切紙	1	▼証券印紙あり
183		明治25	1892			10	31	返済証(地所返戻につき)	海部郡塩津村 債権者 石橋八九郎 相續人 石橋八九郎(印)	有田郡湯浅村 債務者 法眼弥蔵殿	便箋	1	▼朱書きおよび「和歌山 區裁判所湯浅出張所」 印あり

目録番号	年号	西暦	干支	閏	月	日	標題	作成	宛名	形態	数量	備考
184	明治26	1893			11	24	第三二四一号 返済証(地所返戻につき)	海部郡塩津村 貸主 岩子嘉助(印)	有田郡湯浅村 借主 松宮太郎兵衛殿	便箋	1	▼朱書きおよび「和歌山 區裁判所湯浅出張所」 印あり
185	明治26	1893			12	6	約束手形(金20円70銭につき)	白崎村大引 神田鶴吉	湯浅村 松宮太郎兵衛殿	単票	1	▼貼紙あり
186	明治27	1894			6	20	返済証(地所返戻につき)	紀伊國海部郡塩津村大字塩津 債権者 石橋八九郎(印)	有田郡湯浅村大字湯浅 債務者 法眼弥兵衛殿	便箋	1	▼朱書きおよび「和歌山 區裁判所湯浅出張所」 印あり
187	1	明治27	1894		9	26	賣渡之証	数見政四郎(印)	松宮太郎兵衛殿	縦紙	1	
187	2	明治27	1894		9	26	謝証	数見政四郎(印)	松宮太郎兵衛殿	縦紙	1	
188	明治28	1895			2	13	證(取引受取証書差引につき)	衣川善兵衛相續人、衣川貞蔵後見 人 衣川浩(印)、和歌山弁護士宮松 之楠遠隔二付保証人 伏木市太郎(印)、法眼熊右衛門 (印)	松宮太郎兵衛殿	縦紙	1	
189	明治28	1895			3	19	証(金15円渡依頼につき)	高知縣安藝郡津呂村 森田善吉(印)	和歌山縣和歌出島 高井貫一郎殿	便箋	1	
190	明治30	1897			12	1	甲 (有田起業銀行取引勘定および利息につき通知)	株式會社 有田起業銀行(印)	松宮太郎兵衛殿	単票	1	
191	明治31	1898			10	11	(燐酸肥料割引販売につき注文伺)	多木製肥所本店、同兵庫支店(印)	松宮太郎兵衛様御盛店 御中	便箋	1	
192	明治31	1898			4	19	(四十三銀行利息金および取引勘定差引清算につ き通知書類一括)	株式會社 四十三銀行湯浅支店 (印)	松宮太郎兵衛様	単票	21	▼明治31年4月19日から 明治38年2月28日まで
193							(和歌山縣農工銀行通知一括)			綴	2	
193	1	明治32	1899		2	25	事務引継及事務所閉鎖之通知	株式會社和歌山縣農工銀行 設立委員長 小野徳太郎	湯浅 松宮太郎兵衛殿	単票	1	
193	2	明治37	1904		7	4	(定時および臨時株主總會開催につき出席依頼通 知)	株式會社 和歌山縣農工銀行 頭取 谷井勘藏		単票	1	

目録番号	年号	西暦	干支	閏	月	日	標題	作成	宛名	形態	数量	備考
194	明治32	1899			12	8	記(183円80銭受取につき)	安佐郡古市 佐々木忠兵衛[印]	松宮太郎兵衛殿	便箋	1	▼収入印紙あり
195	明治33	1900			3	15	譲り渡し証(はまち地引袋等につき)	日高郡衣奈村 藤田俊雄[印]	松宮太郎兵衛殿	縦紙	1	▼包紙あり▼収入印紙あり
196							(和歌山商業銀行湯浅支店通知書類一括)			綴	6	
196	1	明治33	1900		12	1	甲 (和歌山商業銀行取引勘定および利息につき通知)	株式會社 和歌山商業銀行湯浅支店[印]	松宮太郎兵衛殿	単票	1	
196	2	明治34	1901		6	1	甲 (和歌山商業銀行取引勘定および利息につき通知)	株式會社 和歌山商業銀行湯浅支店[印]	松宮太郎兵衛殿	単票	1	
196	3	明治34	1901		12	1	甲 (和歌山商業銀行取引勘定および利息につき通知)	株式會社 和歌山商業銀行湯浅支店[印]	松宮太郎兵衛殿	単票	1	
196	4	明治36	1903		5	29	(かねて依頼の手形、取立済みにつき通知)	商業銀行支店	松宮太郎兵衛様	便箋	1	
196	5	明治37	1904		1	11	(四十三銀行に対する和歌山商業銀行資産譲渡手続き完了につき通知)	株式會社 和歌山商業銀行	株主殿	単票	1	
196	6	明治37	1904		2	25	(財産目録および貸借対照表証人の件に関する株主総会開催につき通知)	和歌山市本町壹丁目壹番地 株式會社 和歌山商業銀行 清算人 杉原佐一郎、清算人 湯川宗十郎、清算人 水島辰之助他4名	株主殿	単票	1	
197	明治34	1901			2	13	領收證(金50円につき)	藤田俊雄父 真龍(印)	松宮太郎兵衛殿	縦紙	1	
198	明治34	1901			11	10	(伊都銀行取引関係書状)			便箋	1	
199	明治36	1903			2	3	(為替証書金額受取りにつき通知)	湯浅郵便電信局	松宮太郎兵衛様	便箋	1	
200	明治38	1905			9	21	債権預り證(真楽寺講落札につき)	有田郡湯浅町 松宮太郎兵衛[印]	湯浅町大字湯浅 能見市郎右衛門殿	便箋	1	

目録番号	年号	西暦	干支	閏	月	日	標題	作成	宛名	形態	数量	備考
201	明治39	1906			10	5	擔保差入書(約束手形支払いにつき)	手形振出人 和歌山縣有田郡湯淺町 松宮太郎兵衛[印]	株式会社四十三銀行	便箋	1	▼割印あり▼[印]に× 印あり
202	明治19)	1886					(講金返済につき誓約および約定証)			便箋	1	
203	大正 4	1915			5	31	謝状(退店下付金154円65銭につき)	根来楠五郎(印)	松宮太郎兵衛様	便箋	1	
204	大正)15	1926					記(支出および収入金書上につき)			便箋	1	
205							(預金、借用金等書上一括)			綴	3	
205	1						預金之部			便箋	1	
205	2						借用之部			便箋	1	
205	3						平井分到着之部			便箋	1	
206							宮井分取出シ之部			便箋	1	
207			子		8		本銀返證文之事	本人湯淺村 専助(印) 證人同村 熊右之門(印) 同村庄屋 喜兵衛(印)他6名	湯淺組大庄屋 千川傳七	継紙	1	
208			午		10		覚(預け金42両につき)	本人棚の 長兵衛 後見人 甚六	網屋清七殿	縦紙	1	
209					霜	9	賣渡一札之事	賣主棚の 長太郎 世話人 嘉兵衛 " 九右衛門	貸主 網屋清七殿	縦紙	1	
210			辰		12		覚(借銀証文売渡につき)	網屋清七(印)	専助殿	継紙	1	

目録番号	年号	西暦	干支	閏	月	日	標題	作成	宛名	形態	数量	備考
211							(講金預証文雛型)			縦紙	1	
212							代人願(貸金催促訴訟につき)	和歌山縣第五大区二小区 湯浅村平民 松宮太郎兵衛(印)		便箋	1	
213							(貸金延納につき申入状)			切紙	1	
214							年計(年間家計支出覚)			継紙	1	
215							証(機械代金400円受取につき)	中西商店[印]	松宮太郎兵衛様	便箋	1	▼収入印紙あり
216							鮎網賣買契約証書			継紙	1	▼案文か
217							(諸事引受金別紙証雛形)			仮綴	1	
218	1						記(配所諸代金受取につき)	迎徳次郎店	當浦 會議所衆中	切紙	1	
218	2	明治 18			12	4	記(金92円72銭につき)		門端七左工門殿	切紙	1	
219	1						記(代金438円10銭取引証につき)			継紙	1	
219	2	明治20	1887		11	24	(通知添書)			切紙	1	
219	3	明治20	1887		11	24	(包紙)		中町取引様	切紙	1	
220							(取引関係書類一括)			綴	21	

目録番号	年号	西暦	干支	閏	月	日	標題	作成	宛名	形態	数量	備考
220	1						(取引関係につき書状)			便箋	1	▼「大阪 合名会社 三井銀行」用箋
220	2				2	4	(旧宅修繕の件につき書状)	兼三	松宮伯父様	便箋	1	▼「三井物産合名会社」用箋
220	3				3	11	(伝言)	兼三	松宮伯父様	便箋	1	▼「三井物産合名会社」用箋
220	4	明治35	1902			6	30 (株主定式総会開催につき通知)	和歌山織布株式會社 専務取締役 北島七兵衛	株主御中	単票	1	
220	5	明治12	1879			第8	10 預り証書	松宮多郎兵衛(印)	児島惣九郎殿	縦紙	1	▼印紙あり
220	6	明治)12	1879	酉		12	証(網代残金10円借用につき)	本人 秦地藤七(印) 請人 岡村熊兵衛(印) 門 寺本定右衛門(印)他1名	有田郡湯浅村 松宮太郎兵衛殿	縦紙	1	
220	7	明治27	1894				出品願(第4回内国勸業博覧会につき)	和歌山縣有田郡湯浅村大字湯浅 平民 漁網商 松宮太郎兵衛	和歌山縣知事 沖守固 殿	便箋	1	▼欄外に「扣」の書付あり
220	8	明治32	1899			12	借家証(雪隠付き建屋一棟につき)	借家主 前田英太郎[印] 引受人 吉田安兵衛[印]	湯浅町 松宮太郎兵衛殿	縦紙	1	▼証券印紙あり
220	9	明治30)	1897				擔保差入書	手形振出人	株式會社 四十三銀行	単票	1	▼未使用原紙
220	10	明治40	1907			3	25 擔保差入書	手形振出人 和歌山縣有田郡湯浅町大字湯浅 松宮太郎兵衛[印]	株式會社 四十三銀行	単票	1	
220	11	明治40	1907			3	25 擔保差入書	手形振出人 和歌山縣有田郡湯浅町大字湯浅 松宮太郎兵衛[印]	株式會社 四十三銀行	単票	1	
220	12	明治30)	1897				擔保差入書	株式會社 四十三銀行		単票	1	▼未使用原紙
220	13	明治35	1902			5	19 預り証	渡辺庸之丞	松宮太郎兵衛様	便箋	1	

目録番号	年号	西暦	干支	閏	月	日	標題	作成	宛名	形態	数量	備考
220	14						預り証(借入金証書2通につき)	松宮太郎兵衛(印)	花野和助殿	便箋	1	
220	15	明治34	1901		1	21	(通常株主総会決議につき通知)	株式會社 和歌山商業銀行		単票	1	
220	16	1 明治33	1900		12	28	(明治33年12月28日株式会社和歌山商業銀行臨時株主総会議案)			単票	1	▼220-16-2の別紙
220	16	2 明治33	1900		12	12	(臨時株主総会開催につき通知)	株式會社 和歌山商業銀行 取締役頭取 水野國治郎	株主 松宮太郎兵衛様	単票	1	
220	17	明治39	1906		2	10	(網代金支払につき督促状)	辯護士 森戀氏 湯浅出張事務所	松本藤八殿	便箋	1	▼案文か
220	18						預り証(真楽寺講掛戻し証書一通につき)	有田郡湯浅町 松宮太郎兵衛(印)	真楽寺講世話人 花野和助殿	便箋	1	
220	19	明治35	1902		9	15	預り証書	松宮太郎兵衛(印)	真寺講 世話係御中	便箋	1	
220	20	明治36	1903		9	3	借用証書(真楽寺講掛戻し金につき)	有田郡湯浅町大字湯浅 松宮太郎 兵衛、全郡全町大字全 証人 北村 秀二郎	真楽寺講世話人 花ノ和助殿	便箋	1	
221		明治13	1880		第8	5	記(網借り代等請取につき)	政四郎代 井上四郎兵衛(印)	松宮太郎兵衛殿	豎紙	1	
222		明治14	1881		11	29	約定証(雇入れにつき)	有田郡湯浅郡 吉田和二郎(印)	組合御店主締 湯浅自老兵衛殿	便箋	1	▼「吉田和二郎殿誓紙入」の包紙あり▼「湯浅郡」は原文ママ
223							(金円預り証等綴)			綴	5	
223	1						(金銭書上)			切紙	1	
223	2						(金銭書上)			切紙	1	

目録番号	年号	西暦	干支	閏	月	日	標題	作成	宛名	形態	数量	備考
223	3				1	29	(金10円利息分書上)			切紙	1	
223	4	明治)17	1884		4	7	記(金3円借用につき)	清七	法眼殿	切紙	1	
223	5	明治17	1884		第3	28	預り証(金20円につき)	小村三右衛門(印)	井上四郎兵衛殿	切紙	1	
224		明治17	1884				(貸金催促訴訟関係綴)			綴	8	
224	1	明治17	1884		6	20	第九百九十二號 (貸金催促につき裁判所出頭通知)	田邊治安裁判所[印]	日高郡神谷浦 平民 高橋甚右ヱ門	豎紙	1	
224	2	明治18	1885		第5	24	年賦借用証(金32円につき)	日高郡衣奈浦 井本儀兵衛(印)	松宮太郎兵衛殿	便箋	1	▼証券印紙あり▼裏面に書付あり
224	3	明治28	1895		4	11	約定證(民事事件鑑定ならびに代言委嘱につき)	松宮太郎兵衛(印)	代言人 森懋殿	単票	1	▼証券印紙あり
224	4	明治)28	1895	旧	4	15	(網苧取引につき書状)	五左衛門網中 竹井常松(印)	忝宮太郎兵衛様	便箋	1	
224	5	明治28	1895		4	18	借入金證書(金25円につき)	有田郡湯浅村 松宮太郎兵衛(印)	森懋殿	単票	1	
224	6	明治28	1895		11	2	年賦借入金証券	西牟婁郡串本村 借主 城郭健吉 (印)、全郡全村 引受人 神田鶴松 (印)	松宮太郎兵衛様	便箋	1	▼収入印紙あり
224	7				8	3	(金銭借用の件につき書状)		松宮兄	豎紙	1	
224	8						(金融講設立につき加入願)	世話人		単票	1	
225	1				7	20	(日当お渡し依頼)	池永	松宮様	切紙	1	▼封筒あり

目録番号		年号	西暦	干支	閏	月	日	標題	作成	宛名	形態	数量	備考
225	2					7	20	(金銭返金の件につき書状)	池永六郎左工門拜	松宮太郎兵衛様	継紙	1	▼封筒あり
226	1	明治20	1887			7	30	借入金証(金38円につき)	千川傳七(印)	松宮太良兵衛殿	縦紙	1	▼包紙あり
226	2	明治20	1887			7	30	賣渡証書	本人 井上量蔵[印] 証人 千川傳七(印)	松宮太良兵衛殿	切紙	1	▼包紙あり
227		明治23	1890			10	17	証(取引金銭清算済みにつき)	富田中村 濱口伊平次(印)	松宮太郎兵衛殿	縦紙	1	
228		明治24	1891			6	24	記(返金につき)	久蔵	井口定様	切紙	1	
229	1	明治25	1892			11	2	営業品仕入調(明治24年)	有田郡湯浅村 松宮太郎兵衛		単票	1	
229	2	明治25	1892			11	2	物産輸出調(明治24年)	有田郡湯浅村 松宮太郎兵衛		単票	1	
230								(苧注文書および書簡)			綴	2	
230	1					10	20	(苧送付につき書簡)	高知縣安藝郡津呂村 金澤悦弥太(印)	松宮太郎兵衛様	便箋	1	▼日付、作成および宛名は230-2より
230	2					10	20	注文(2ツ差苧、目方20貫目につき)	高知縣安藝郡津呂村 金澤悦弥太(印)	松宮太郎兵衛様	便箋	1	
231		明治27	1894			10	13	(支店源七への取計いにつき依頼状)	呉和庄町 土本十右工門[印]	松宮太郎兵衛様	切紙	1	
232		明治28	1895			2	3	記(金銭書上につき)	まつ宮	井量様	切紙	1	
233		明治28	1895		旧	3	27	(網品積層につき依頼状)	衣奈村大字衣奈 角本忠右工門(印)	湯浅御蔵町 網太様	便箋	1	▼包紙あり

目録番号	年号	西暦	干支	閏	月	日	標題	作成	宛名	形態	数量	備考
234	明治30)	1897					証(麻等代金7円27銭につき)	神戸大崎回漕店		便箋	1	▼作成は便箋名より
235	明治32	1899			4	6	借用証(金20円につき)	有田郡保田村大字千田 当時湯浅町大字湯浅寄留 山崎鉄之助(印)	湯浅 松宮太郎兵衛殿	縦紙	1	▼賣薬印紙あり▼書簡あり
236	1 明治33	1900				9 19	(製網見積につき回答書)	大阪府中河内郡八尾 川崎撚糸所(印)	松宮太郎兵衛殿	便箋	1	
236	2					11 13	(見積書および書状)	武田商店	松宮様	便箋	1	▼「武田商店用紙」
236	3 1					2 16	(撚糸の値段照会につき書状)	カタン会社 賣買掛り	松宮太郎兵衛様	便箋	1	▼「日本カタン糸株式会社」用箋
236	3 2					4 20	(撚糸照会につき見本糸送付ならびに回答書)	日本カタン糸株式会社[印]	松宮太郎兵衛様	便箋	1	▼「日本カタン糸株式会社」用箋
236	3 3						(撚糸値段につき照会)	[日本カタン糸株式会社]		便箋	1	▼「日本カタン糸株式会社」用箋
236	3 4 明治)29	1896				7 19	(撚糸取引につき書状)	日本カタン糸株式会社賣係り[印]	松宮太郎兵衛様	便箋	1	▼「日本カタン糸株式会社」用箋
237	1 明治35	1902				3 12	(編網機械の件書状)	三重製網所	松宮太郎兵衛様	便箋	1	▼「三重製網所用箋」
237	2 明治35	1902				6 23	(網製造代価につき書状)	三重製網所	松宮太郎兵衛様	便箋	1	▼「三重製網所用箋」
237	3 明治35	1902				10 18	(編網機械照会につき回答書)	三重縣四日市市 三重製網所	松宮太郎兵衛様	便箋	1	▼「三重製網所用箋」
237	4 明治36	1903				10 31	(工場実地観覧につき案内状)	四日市市濱町 三重製網所 西口利平	紀州 松宮太郎兵衛様	便箋	1	▼「三重製網所用箋」
237	5 明治37	1904				2 2	(製網機械の代金の件につき書状)	三重製網所	松宮太郎兵衛様	便箋	1	▼「三重製網所用箋」

目録番号			年号	西暦	干支	閏	月	日	標題	作成	宛名	形態	数量	備考
237	6		明治36	1903			12	13	(戸田保二郎氏所有編網機械照会につき回答書)	四日市三重製網 西口利平	松宮太郎兵衛様	便箋	1	
237	7		明治37	1904			1	26	(注文金具勘定書および回答)	三重製網合資会社	松宮太郎兵衛様	便箋	1	▼「三重製網所用箋」
237	8		明治38	1905			4	21	(機械使用につき書状)	三重縣四日市市濱町 三重製網合資会社	松宮太郎兵衛様	便箋	1	▼「三重製網所用箋」
238	1		明治35	1902			11	18	(止宿所報告につき書簡)	井上勇吉様	松宮両主人様	便箋	1	
238	2		明治35	1902			11	19	(機械操業授業につき書簡)	井上勇吉様	松宮両主人様	便箋	1	
238	3		明治35	1902			11	24	(機械操業授業につき書簡)	樽長才 井上勇吉様	松宮両主人様	便箋	1	
238	4		明治35	1902			11	26	(機械操業授業につき書簡)	店員 正助様	松宮両主人様	便箋	1	
238	5		明治35	1902			11	30	(書簡)	正助様	松宮両主人様	便箋	1	
238	6		明治35	1902			12	2	(書簡)	正助様	松宮両主人様	便箋	1	
239			明治36	1903			10	16	記(止針等代金7円45銭につき)	三重縣四日市市 三重製網所(印)	松宮太郎兵衛様	便箋	1	
240			明治37	1904			11	24	委任状(網代貸金支払請求につき)	和歌山縣有田郡湯浅町大字湯浅 松宮太郎兵衛(印)		便箋	1	
241			明治38	1905			4	15	發送第二三三號 出荷案内書	三重縣四日市市濱町 三重製網合資会社(印)	松宮太郎兵衛様	単票	1	
242									(松宮商店取引関係書状綴)			綴	7	▼「松宮商店」用箋

目録番号	年号	西暦	干支	閏	月	日	標題	作成	宛名	形態	数量	備考
242	1	明治39	1906			8 27	(川崎造船株購入の件書状)	紀州湯浅 松宮太郎兵衛	野村法七殿	便箋	1	▼「松宮商店」用箋
242	2	明治40	1907			2 21	証(金銭書上につき)		武田御店	便箋	1	▼「松宮商店」用箋
242	3						(金銭返付の件につき書状、下書き)			便箋	1	▼「松宮商店」用箋
242	4						(書類の調印依頼につき書状、下書き)			便箋	1	▼「松宮商店」用箋
242	5						(書類の調印依頼につき書状、下書き)			便箋	1	▼「松宮商店」用箋
242	6						記(金銭書上につき)			便箋	1	▼「松宮商店」用箋
242	7						(株券書換請求の件につき書状、下書き)			便箋	1	▼「松宮商店」用箋
243		明治40	1907			4 11	記(代金受取につき)	阿瀬	裕宮様	便箋	1	
244				子	閏	2 4	覚(干鰯積入につき)	清水屋 長兵衛(印)	網屋長太郎殿 組頭 卯兵衛殿	豎紙	1	
245					旧	2 8	(網代残金支払延引につき書状)	淡路国鳥飼浦 高藤六左衛門	紀州湯浅 松宮太郎兵衛様	豎紙	1	▼包紙あり
246				辰		6 12	仕切	富士右衛門(印)	浅吉船	豎紙	1	
247				卯		1 7	覚(掛金受取につき)	十島組名代 井上四郎兵衛(印)	千川傳七殿	切紙	1	
248						2 9	(芋取引値段の件につき書状)	田中商店[印]	松宮殿	便箋	1	▼作成者印「芋商鹿兒 島県高宮郡古市田中嘉 右衛門」

目録番号	年号	西暦	干支	閏	月	日	標題	作成	宛名	形態	数量	備考
249							(4月1日より改定につき賃金表)			単票	1	
250	1				5	16	覚(代銀293貫550匁受取につき)	市村 十三郎(印)	浅吉殿	切紙	1	
250	2				5	16	覚(代銀17匁6分受取につき)	十三郎	浅吉殿	切紙	1	
251					10	3	証(金8円受取につき)	井上恒蔵 代理□□(印)	松宮清蔵様	切紙	1	
252							受人証(亀蔵奉公につき)	南廣村柳瀬 鉢内松太郎(印)	松宮太郎兵衛様	豎紙	1	
253		明治26	1893				(借りの部、召り物の部につき書上)			折紙	1	
254					3	16	記(金銭書上につき)			折紙	1	
255							覚(金銭書上につき)			切紙	1	
256							(人別書上覚)			便箋	1	
257							(製造部および販売部につき書付)	松宮商店		便箋	1	▼作成は便箋名より
258							(苧送荷につき書状)	高知縣安芸郡津呂村 金澤悦弥太商舖(印)	松宮太郎兵衛様 商店御中	便箋	1	▼「安芸郡津呂村金澤 用紙」
259							賃金定			便箋	1	
260	1						製網利益			便箋	1	

目録番号		年号	西暦	干支	閏	月	日	標題	作成	宛名	形態	数量	備考
260	2							工場維持費			便箋	1	
261								(質物取り扱いにつき書上)			便箋	1	
262								(玉井番製造七ヶ条)			豎紙	1	
263								(米等、人別書上覚)			横帳	1	
264								(金子ならびに銀子借用につき覚)			折紙	4	
265								(金子借用につき覚)			折紙	1	
266	1	明治)29	1896			10	2	(元金、利子受渡覚)			切紙	1	
266	2	明治31	1898				9	(元金、利子受渡覚)			切紙	1	
267		明治16	1883			第2	24	確証(家屋および地所買受につき)	裕宮太郎兵衛(印) 保証人 井上四郎兵衛(印) 同 井上量藏[印]他2名	千川傳七殿	便箋	1	▼「明治三十年七月十七日済」と記入あり
268	1	明治)19	1886			4	7	(金円借用願)	吉本久隆(印)	塩路半兵衛様 松宮太郎兵衛様	便箋	1	
268	2	明治)19	1886			4	7	證書(金15円約定金残金より返戻につき)	和歌山藩三木町堀詰 吉本久隆(印)	有田郡湯浅村 塩路半兵衛様 松宮太郎兵衛様	便箋	1	▼封筒あり
269	1	明治)22	1889			8	3	(網代金の件につき書状)	菅茂次郎	松宮太郎兵衛様	継紙	1	
269	2	明治)27	1894			1	2	(苧3斤入用にて船にて送付につき書状)	日高郡阿尾 塩寄芳太夫	湯浅 松宮太郎兵衛様	豎紙	1	

目録番号			年号	西暦	干支	閏	月	日	標題	作成	宛名	形態	数量	備考
269	3		明治2?	1894			7	27	(苧、網、綿糸等代金送付につき書状)		松宮太郎兵衛様	便箋	1	
269	4		明治32	1899			11	30	(代金送付の件につき書状)	山万	松宮太郎兵衛様	便箋	1	
269	5		明治33	1900			2	10	(苧入り次第網製いたすべき旨書状)	和歌山縣有田郡廣仲町 戸田保太郎		便箋	1	
269	6		明治33	1900			6	9	(編網について照会依頼)	大阪府中河内郡八尾 川崎撚糸所		便箋	1	▼「川崎撚糸所」用箋
269	7								(苧代金不足分の件につき書状)	網太本店		便箋	1	▼「網太本店用紙」
270	1		明治)23	1890			11	7	(諸事ある時は送り付けの件につき書状)	菅茂次郎(印)	松宮太良兵衛様	豎紙	1	
270	2		明治31	1898			1	1	(新年につき挨拶状)	松宮太郎兵衛		便箋	1	▼「松宮商店」用箋
270	3								(第2回水産博覧会3等受領につき宣伝方注文願)	松宮商店		便箋	1	▼「松宮商店」用箋
270	4		明治30	1897			12	10	(今後、麻綿両方の漁網生産に努力したき旨書状、 下書き)		湯浅得意宛名	便箋	1	▼「松宮商店」用箋
270	5		明治32	1899			9	29	(得意先訪問旅行概略)	清水港ニテ(三木屋) 茂一郎拝	父上様	便箋	1	▼「松宮商店」用箋
270	6		明治32	1899			11	16	(送金の件につき通知)	辻本	松宮様	便箋	1	▼「麻苧漁網商辻本商店用箋」
270	7		明治)32	1899		旧	11	17	(近年不良につき網買入および送金延期につき 書状)	□□大吉	松宮様	便箋	1	
270	8		明治32	1899			7	8	(仕切金60円50銭送金の件につき書状)	辻本和七	松宮商店御中	便箋	1	▼「麻苧漁網商辻本商店用箋」

目録番号			年号	西暦	干支	閏	月	日	標題	作成	宛名	形態	数量	備考
271	1		明治27)	1894			5	18	(貸金返済の件につき書状)	井上量蔵(印)	松宮太郎兵衛様	継紙	1	▼封筒あり▼年号は消印より
271	2						1	16	(金100円受取につき通知)	山崎銀行	松宮太郎兵衛様	継紙	1	▼封筒あり
271	3		明治38)	1905			12	8	(貸金返済の件につき書状)	千川傳七	松宮御主人	継紙	1	▼封筒あり▼年号は消印より▼西牟婁郡周参見村、「周参見実業会長宮本輝一」名刺あり
271	4		明治)28	1895			2	5	(貸金の件につき書状)	井上量蔵	松宮太郎兵衛様	便箋	1	▼封筒あり
271	5					旧	10	6	(不漁続きにつき調達困難につき書状)	兵庫県淡路ノ国津名郡鳥飼浦 斎藤六左工門	紀伊ノ国湯淺 松宮太郎兵衛様	縦紙	1	▼封筒あり
272							1	6	(依頼状)	梶若文吉	湯淺哲君	継紙	1	
273	1						1	7	(新年挨拶につき書状)	弘方拝	岩濱大兄	継紙	1	
273	2						2	22	(貸金猶お願いにつき書状)	前田小弟	松宮貴兄	便箋	1	
273	3						3	4	(書状)	井上量蔵	松宮太郎兵衛様	継紙	1	
273	4						7	11	(書状)	兼三拝	松宮□□様	継紙	1	
273	5						6	3	(書状)	弘方	松宮太郎兵衛様	継紙	1	
273	6								(書状)			切紙	1	
273	7								(書状)	井上四郎	松宮太郎兵衛殿	継紙	1	

目録番号	年号	西暦	干支	閏	月	日	標題	作成	宛名	形態	数量	備考
274	明治31	1898			2	10 夕	(書状)	弘方拜	岩濱大兄	継紙	1	▼封筒宛名は「松宮太郎兵衛様」▼年号は消印より
275				旧	2	15	(参上延引につき書状)	日高郡衣奈村 湯森房蔵	渡邊庸之丞様	切紙	1	
276					2	19	(参上延引につき書状)	日高郡衣奈村 湯森房蔵	有田郡湯浅町 森法律事務所 渡邊庸之丞様	継紙	1	
277					6	28	(書状)	松宮太郎兵衛	藤田様	継紙	1	
278	1				3	11	(書状)	藤田俊雄	松宮太郎兵衛様	切紙	1	
278	2				3	31	(書状)			便箋	1	
278	3				7	10	(書状)	富田中村 納師吉蔵	松宮太郎兵衛様	便箋	1	
278	4				霜	6	(借入の件につき書状)	眞楽寺 臺所	松宮様	便箋	1	
278	5			旧	12	23	(入金の件につき書状)	湯わ清兵衛	松宮太郎兵衛様	切紙	1	
279					4	17	(書状)		井ノ上御方様	継紙	1	
280					5	5	(書状)	山崎	松宮様	便箋	1	▼封筒あり
281					6	10	(書状)	(井上)量蔵拜	松宮太郎兵衛様 法眼弥兵衛様他4名	継紙	1	▼封筒あり
282					8	27	(書状)	藤田俊雄	阿三太郎様	継紙	1	▼封筒あり

目録番号	年号	西暦	干支	閏	月	日	標題	作成	宛名	形態	数量	備考
283	1				8	10	(網代金に関し至急返信依頼につき書状)	松本与三右衛門	松宮太郎兵衛様	便箋	1	
283	2				8	24	(書状)	秀二郎	松宮尊兄	豎紙	1	
283	3						(訴訟につき報告書)			便箋	1	
284		明治)24	1891		9	14	ここから(現物確認)	竹右エ門	茂一郎殿	継紙	1	▼封筒あり
285					12	9	(貸金の件につき書状)	ユアサ 吉右衛門	井上四郎兵衛様	継紙	1	
286	1				12	26	(書状)	中部	松宮様	便箋	1	▼封筒あり▼「和歌山県有田郡役所」用箋
286	2						第二回水産博覧会書状			便箋	1	▼封筒あり▼「和歌山県有田郡役所」用箋
287					旧 2		(株拝借以来音沙汰なき事をお詫び書状)	和歌山市 山崎鉄之助	有田郡湯浅町大蔵町網 商 松宮太郎兵衛殿	葉書	1	
288					旧 13		(担保として借用の網の件につき書状)	藤田俊雄	松宮太郎兵衛様	継紙	1	▼包紙あり
289	1			旧	1	30	(残額返却の件につき書状)	青梅茂兵衛拝	松宮君	切紙	1	
289	2					27	(金銭の件につき書状)	カド町拝	御蔵町様	切紙	1	▼封筒あり▼封筒作成者「柳拝」宛名「松宮松溪大君」
289	3				7	21	(書状)	柳拝	松宮様	継紙	1	▼包紙あり
289	4				3	5	(返金延滞の件につき書状)	□(屋号)井上	□(屋号)大兄	継紙	1	▼作成者屋号「傘に☉」、宛名屋号「傘に丸に十」

目録番号	年号	西暦	干支	閏	月	日	標題	作成	宛名	形態	数量	備考
289	5				8	17	(抵当物売却代金の配当につき照会回答)	吉本久隆	松宮太郎兵衛様	継紙	1	
290							(皆達者の旨知らせ)	三人より	おばあさん おかあさん	切紙	1	
291							(諸費用書上)			便箋	1	▼「松宮商店」用箋
292							(農事年間覚)			単票	1	▼「紀伊水力電気株式 會社株式引受申込證」 裏面に書付
293							(不漁打続き、網改良の件につき書状)	左次兵衛	松宮太郎兵衛様	便箋	1	▼「網太本店用紙」
294	1	明治34	1901		9	12	(拝借金の件につき書状)	田辺町 大和ヤ	有田郡湯浅町 松宮太郎兵衛様 正助様	便箋	1	▼封筒あり▼年号月日 は消印より
294	2	明治34	1901		9	12	記(金銭借受につき)	田中医院	榎本甚吉様	切紙	1	▼封筒あり▼年号月日 は消印より
295	1						(抵当物件強制執行の件につき覚)			切紙	1	
295	2						(抵当物件強制執行および証人出頭等の件につき覚)			切紙	1	
295	3						(人名書上)			切紙	1	
296							(書状)	鶴之助	松宮大人	便箋	1	▼封筒あり
297		明治9	1876	子	第10	14	預り證之事	太田齋兵衛(印)	忝宮太郎兵衛様	豎紙	1	▼印紙あり
298	1	明治22	1889		7	5	出品御願(第3回内国勸業博覧会につき)	出品者 松宮太郎兵衛	和歌山縣知事 松本鼎 殿	便箋	1	

目録番号	年号	西暦	干支	閏	月	日	標題	作成	宛名	形態	数量	備考
298	2						(第3回内国勸業博覧会出品一覧)	和歌山縣下有田郡湯浅村 松宮太郎兵衛		便箋	1	▼298-1の別紙
298	3						第一号(小目網詳解)	和歌山縣管下紀伊國有田郡湯浅村 松宮太郎兵衛		単票	1	
298	4						第貳号(廣目網詳解)	和歌山縣管下紀伊國有田郡湯浅村 松宮太郎兵衛		単票	1	
298	5						第貳号(廣目網詳解)	和歌山縣管下紀伊國有田郡湯浅村 松宮太郎兵衛		単票	1	▼298-4と同一内容
298	6						第參号(蓑網詳解)	和歌山縣管下紀伊國有田郡湯浅村 松宮太郎兵衛		単票	1	
299	1	明治34	1901	丑		2	衣奈藤田俊雄販地引網賣却決算書			横帳	1	▼綴紐部分に「衣奈販地引網決算書[松宮商店印]」あり
299	2	明治34	1901		旧	3 4	証(残額請求につき)	日高郡衣奈村 前田市郎右衛門(印) (他2名)	有田郡湯浅町 松宮太郎兵衛様	縦紙	1	
299	3	明治29	1896			10 2	預り金証書(金297円70銭につき)	有田郡湯浅町大字蔵町 松宮太郎兵衛(印)	衣奈村大字衣奈 前田市郎右衛門殿 (他2名)	縦紙	1	▼証券印紙あり
299	4	明治)29	1896			10 2	委任状	有田郡湯浅町大字蔵町 松宮太郎兵衛(印)	日高郡衣奈村大字衣奈 前田市郎右衛門殿 (他2名)	縦紙	1	▼証券印紙あり
299	5	明治)31	1898			8	衣奈網決算			便箋	1	
300		明治32	1899			1	(面網糸、撚糸ロープおよび綿糸網代価表)	三重縣四日市市 三重紡績株式會社		単票	1	▼貼紙あり
301		明治33	1900			6 9	第八百四拾号 川崎製綿絲漁網絲廣告	大阪府中河内郡八尾 川崎撚絲所(印)	松宮太郎兵衛様	単票	1	
302					旧	7 10	(網入用につき書状)	鴨居浦 濱本三之介	紀州湯浅 網屋太郎兵工様	便箋	1	

目録番号	年号	西暦	干支	閏	月	日	標題	作成	宛名	形態	数量	備考
303							記(網一組借入につき)	預り主 濱口伊平次(印) 證人 端野孫太夫(印)	松宮專助殿	便箋	1	
304							漁網相場			便箋	1	
305							(網張図)			豎紙	1	
306	明治34	1901			2	27	船舶賣渡書	有田郡湯浅町大字湯浅 船舶賣渡人 引網吉右衛門(印)	買受人 松宮太郎兵衛殿	便箋	1	
307	明治34	1901			2	27	船舶賣買書	有田郡湯浅町大字湯浅 船舶賣渡 人 引網吉右衛門、全郡湯浅町大字 湯浅 船舶買受人 松宮太郎兵衛	有田郡長 野田四郎殿	便箋	1	
308	明治34	1901			8	27	船舶賣買届	湯浅町 賣渡人 松宮太郎兵衛 湯浅町 買受人 小川庄太郎	有田郡長 野田四郎殿	便箋	1	
309	明治31	1898			1	2	借用記(書物の内、金2円50銭拝借につき)	水野直右衛門	松宮太郎兵衛殿	豎紙	1	
310	明治23	1890			1		義捐金敬承簿	中島憲行[印]	松宮太郎兵衛殿	横半 帳	1	
311	明治23	1890			5	14	東京、日光、塩竈 博覧會參詣	阿瀬卯兵衛 (他4名)		横帳	1	
312	明治33	1900			10	25	証(弔魂金受領につき)	有田郡書記 羽田文四郎(印)	松宮太郎兵衛殿	便箋	1	
313	1	明治40	1907		4	12	通知書(自治会大会開催につき)	自治會長 北村秀二郎	松宮太郎兵衛殿	単票	1	
313	2	明治40	1907		4	19	報告書(自治会推薦候補者当選につき)	湯浅自治會	松宮太郎兵衛殿	単票	1	
314							(俳諧記)			便箋	1	

目録番号	年号	西暦	干支	閏	月	日	標題	作成	宛名	形態	数量	備考
315							我村隆運ヲ謀ルノ策			豎紙	1	
316	明治29	1896			12	26	耕地小作証	小作人 出口崑右衛門(印) 保証人 松原次惣兵衛(印)	地主 松宮太郎兵衛様	豎紙	1	▼証券印紙あり
317	大正 1	1912			12		小作証	本人 谷本鉄之丞 (他1名)	松宮太郎兵衛様	便箋	1	▼収入印紙あり
318							地所小作証書	小作人 栗田楠松(印) 保証人 坂口竹叅(印)		単票	1	▼収入印紙あり
319							湯浅村鑑			便箋	1	
320							記(田畑につき書上)			継紙	2	
321	明治23	1890		旧	6	18	(石砂取捨請負約定につき書状)	大字井関区長 栗山文吉(印)	松宮太郎兵衛様	便箋	1	
322	明治29	1896			9	23	承諾証(建物取引につき)	千川傳七(印)	松宮太郎兵衛殿	豎紙	1	▼証券印紙あり
323	1	明治30	1897		3	7	板囲御願	有田郡湯浅町大字湯浅 松宮太郎兵衛(印)	和歌山縣有田警察署御 中	便箋	1	▼別紙図面あり
323	2	明治30	1897		3	7	有第七六七号 (板囲願承諾につき通知)	有田郡警察署[印]	有田郡湯浅町大字湯浅 松宮太郎兵衛	便箋	1	
324	明治31	1898			4	8	湯浅町字蔵町道路修繕工事費町負擔建議	湯浅町會議員		便箋	1	
325	明治17	1884			7		(群区編成改革につき通達)	和歌山縣令 松本鼎	戸長	豎紙	1	▼通達の写しか
326	明治23	1890		旧	正	5	説明(明治22年度決算につき)			折紙	1	

目録番号	年号	西暦	干支	閏	月	日	標題	作成	宛名	形態	数量	備考
327	明治33	1900			4	1	(郵便切手葉書の件につき)	湯浅郵便電信局[印]	字蔵町 切手賣下所御中	便箋	1	
328							伺書(湯浅郵便電信局長不信認につき)			便箋	3	
329	明治17	1884			7		戸数掛り等級歎願	有田郡湯浅村 金持み祢(印)	湯浅村會議員御中	便箋	1	
330							(地租覚)			折紙	1	
331	明治9	1876			第11		差入申證書之事	大国五兵衛(印) 同 佐助(印)	福村忠兵衛殿	切紙	1	
332	明治20	1887			4	14	(義弟の結約許可への御礼状)	義弟 數見政四郎(印) 后見人 塩路半兵衛(印)	義兄 松宮太郎兵衛殿	豎紙	1	
333			午		9		賣付一札之事	利助(印)	ゆあさ 長兵衛殿	豎紙	1	
334	明治29	1896			11	1	(延着断りにつき書状)	鉄道運[送合資]會社出張所	黒川傳八殿	便箋	1	
335	明治28	1895			8	28	(第1回支部協議会開催につき出席願)	真宗教會和歌山支部[印]	松宮太郎平殿	便箋	1	
336	明治40	1907			6	26	(辻金男宿泊につき書状)	阿瀬	松宮様	便箋	1	
337							(断簡)			切紙	7	
338	1 明治21	1888					日誌 明治二一～二五年			綴	5	▼帙製本
338	1 1 明治21				1	1	日誌 明治廿一年一月一日ヨリ全年十二月三十一日ニ至 ル記事	松宮主人康秀		帳面類	1	

目録番号	年号	西暦	干支	閏	月	日	標題	作成	宛名	形態	数量	備考
338	1	2 明治22	1889			1	1 日誌 明治廿二年壹月一日ヨリ全年十二月三十一日ニ至ル記事	松宮主人康秀		帳面類	1	
338	1	3 明治23	1890			1	1 日誌 明治廿三年一月一日ヨリ全年十二月三十一日ニ至ル記事	康秀		帳面類	1	
338	1	4 明治24	1891			1	1 日誌 明治廿四年一月一日ヨリ全年十二月三十一日ニ至ル記事	松宮主人康秀		帳面類	1	
338	1	5 明治25	1892			1	1 日誌 明治廿五年一月一日ヨリ全年十二月三十一日ニ至ル記事	松宮主人康秀		帳面類	1	
338	2	明治26	1893				日誌 明治二六～三十年			綴	5	▼帙製本
338	2	1 明治26	1893			1	1 日誌 明治廿六年一月一日ヨリ全年十二月三十一日ニ至ル記事	松宮主人		帳面類	1	
338	2	2 明治27	1894			1	1 日誌 明治廿七年一月一日ヨリ全年十二月三十一日ニ至ル記事	松宮主人康秀		帳面類	1	
338	2	3 明治28	1895			1	1 日誌 明治廿八年一月一日ヨリ全年十二月三十一日ニ至ル記事	松宮主人康秀		帳面類	1	
338	2	4 明治29	1896			1	1 日誌 明治廿九年一月一日ヨリ全年十二月卅一日ニ至ル記事	松宮主人康秀		帳面類	1	
338	2	5 明治30	1897	丁酉		1	1 日誌 明治三十年一月一日ヨリ全年十二月卅一日ニ至ル記事	松宮主人康秀		帳面類	1	
338	3						日誌 明治三二～三五年			綴	4	▼帙製本
338	3	1 明治32	1899	巳亥		1	1 日誌 明治三十二年一月一日ヨリ全年十二月卅一日ニ至ルノ記事	松宮主人康秀		帳面類	1	
338	3	2 明治33	1900	庚子		1	1 日誌 明治三十三年一月一日ヨリ全年十二月卅一日ニ至ルノ記事	松宮主人康秀		帳面類	1	

目録番号			年号	西暦	干支	閏	月	日	標題	作成	宛名	形態	数量	備考
338	3	3	明治34	1901	辛丑		1	1	日誌 明治三十四年一月一日ヨリ全年十二月卅一日ニ至ルノ記事	松宮主人康秀		帳面類	1	
338	3	4	明治35	1902	壬寅		1	1	日誌 明治三十五年一月一日ヨリ全年十二月卅一日ニ至ルノ記事	松宮主人康秀		帳面類	1	
338	4		明治36	1903					日誌 明治三六～三八年			綴	3	▼帙製本
338	4	1	明治36	1903	癸卯		1	1	日誌 明治三十六年一月一日ヨリ全年十二月卅一日ニ至ルノ記事	松宮主人康秀		帳面類	1	
338	4	2	明治37	1904	甲辰		1	1	日誌 明治三十七年一月一日ヨリ全年十二月卅一日ニ至ルノ記事	松宮主人康秀		帳面類	1	
338	4	3	明治38	1905	乙巳		1	1	日誌 明治三十八年壹月一日ヨリ全年十二月卅一日迄記事			帳面類	1	

松宮太郎兵衛家文書

－史料の概要と特色－

「松宮太郎兵衛家文書」は、寛政 6（1794）年から大正 15（1926）年までの史料 832 点（「日誌」 17 点含む）から構成され、本目録の「和歌山県関係史料の来歴」でも記したように、1950 年 10 月に漁業制度資料調査保存事業の一環で、和歌山県沿岸域の調査が集中的に行われた際、探訪された史料群である。探訪当時の書類や刊行目録には「松宮百合子家文書」となっているが、その後の整理・調査の過程で、史料の多くに「松宮太郎兵衛」の名が頻出しており、現地においても漁網製造販売を行っていた「松宮太郎兵衛家」の名が知られてきたことから、本目録では「松宮太郎兵衛家文書」とすることにしたい。

松宮太郎兵衛家は、和歌山県有田郡湯浅町の、近世期は和歌山藩領の御蔵所であったことから御蔵町と呼ばれる地に所在した。現在湯浅町の中心地区は重要伝統的建造物保存地区に指定されている。通常「伝建地区」と呼ばれるが、文化庁が昭和 50（1975）年から、全国各地の城下町、宿場町、門前町などの歴史的な集落・町並みの保存を目的に始まったもので、現在（2019 年 12 月 23 日、文化庁ホームページ）全国 100 市町村 120 か所が指定されている。湯浅の旧御蔵町周辺が伝建地区に指定された理由は、この地が中世以来の熊野詣での街道筋にあたり、特に近世以降、宿場あるいは商業地として栄え、現在も当時の地割が残っていること、本瓦葺大壁造の町家や醤油醸造に関わる土蔵等が残されていることによる。商業については、紀州和歌山藩が文化 8（1818）年に編纂した「紀伊続風土記」に「元和寛永の頃に至りて人家千戸に及び商売市街をなし」と記されており、戦国末から近世初頭にかけて、すでに商業街が形成されていたことが見えている。醤油醸造については、湯浅の金山寺味噌の製作過程で生じる上澄み液が今日の醤油の原点となったという口碑があり、今日では「醤油醸造の発祥地」ともされている。実際、享和元（1801）年の湯浅に、広川を挟んだ隣町の広（現在の広川町）と合わせて 44 人の醤油醸造家による湯浅組が株仲間を形成していた（『湯浅町誌』）。

湯浅あるいは隣村の広は紀伊水道に面しているため、古くから漁業も盛んで、八手網（はちだあみ）に代表される紀州の優秀な漁具・漁法を携えて、遠く関東さらには東北にまで出漁していたとされる。紀州加太浦の大甫七十郎は関東に出漁し、湯浅浦の貝柄助右衛門や栖原浦のほんぼう四平次を招いて房総で八手網による鰯漁を行っている。また広浦の漁民は当初薩摩・日向・肥前・大隅等の西国に通漁していたが、後には関東に転じ、八手網等 80 帖を持ち込んで鰯漁を行った。鰯は干鰯となって、近畿・中四国の綿花栽培で利用された。ところで、湯浅や広の漁民の積極的な関東出漁の背景には、彼らの用いる漁網の優秀さがあったと考えられる。古くから、基本的には漁網には藁が用いられ、加工がしやすい上に材料が手に入りやすいものの、耐久性に問題があった。湯浅は醤油醸造が盛んであったため、醸造の過程でできるもろ味（大豆、小麦に塩を加えて発酵させたもの）から醤油を絞る際、上から強い力で圧搾するための苧麻等の丈夫な袋を作成する技術があった。圧搾には大きな圧力がかかるため、苧麻製の袋の編み込みは極めて精密なものであったが、これらは近隣の女性による手工業生産によって作成されており、こ

れが漁網の生産にも転用されたのである（以上、湯浅の漁業と漁網の記述は、田島佳也「近世紀州漁法の展開」『近世北海道漁業と海産物流通』参照）。一方、苧麻製の網は優秀であったが、綿糸が普及してくると漁網にも使用されるようになった。「松宮太郎兵衛家文書」の明治30年12月10の書状（目録番号270-4）に「従来漁業家ハ麻網を専ラ使用致居候処、綿糸網出デテヨリ、其需要大ニ増シ、一般ニ一大流行ノ勢ト相成」とあって、明治30年の段階では、すでに綿糸網が「一大流行ノ勢い」となっていたようである。湯浅は紀伊水道に面してわずかに内湾をもち、中四国や泉南等の苧麻あるいは綿糸の供給地が近く、流通拠点の大阪にも近かったことは、地理的条件が十分に揃っていたといえよう。

松宮太郎兵衛家は代々太郎兵衛を通名としてきた。太郎兵衛家の詳細については本書の「史料紹介 一内国勸業博覧会史料と「日誌」からみる松宮太郎兵衛一」を参照していただくとして、ここでは史料群の概要に関連する範囲で摘記したい。

松宮太郎兵衛家は漁網の製造・販売を行っており、先に記したように「網組」と呼ばれる、複数の漁網販売の家による株仲間を形成していた。『湯浅町誌』によれば、紀伊藩主徳川順宣が産業の保護奨励のため、湯浅の漁網に対して正保4（1647）年に保護を与え、但馬・安芸の良質な苧麻を取り入れたとあり、藩の奨励品だったのであろう。実際本史料群の近世期の史料に、「紀州御仕入御産物網」（目録番号148-8「連印を以借用申證文之事」）の表記があり、それらを製作・販売する同業者集団は、「網屋仲間」（目録番号65、安政2（1855）年「割合帳」）あるいは「湯浅村網職仲間」（目録番号53、明治5（1872）年「未年網賣揃反掛り錢上納帳」）と呼ばれていた。安政2（1855）年「割合帳」によれば、安政期には「網仲間」に属していた家は凡そ11軒から15軒だったことがわかる。松宮太郎兵衛家もその中の一つだったと考えられるが、いったい何時から漁網製造・販売を行っていたのであろうか。『湯浅町郷土誌』（大正4（1915）年発行）には、鎌倉時代の嘉暦頃（1326～1328）には「岩佐網」と称して、湯浅の網作りが付近の漁場に売りに出されていたことが記されており、史料的な裏付けはないものの、先に記したように正保4（1647）年の段階ですでに藩の保護・奨励が始まっていたことを考えると、湯浅の網の歴史が近世以前に始まっていた可能性は十分であろう。一方、松宮太郎兵衛家の漁網製造の起源と関連するかどうかは定かでないものの、「松宮太郎兵衛」の名の始まった時期、すなわち「松宮太郎兵衛家」の形成期は推定が可能である。松宮太郎兵衛を名乗った最後の当主は松宮茂一郎であったが、そのお孫さんにあたる俊樹氏宅に伺って、所蔵されている家に関する史料等の閲覧を許された。その中に俊樹氏の父順一氏が作成した、家の過去帳を整理して作成した史料がある。それによると茂一郎が家業の製網業をやめ、現在の関西電力の前身である南海水力の社員に転じたのは大正頃のようなのである。同史料には初代「太郎兵衛」についても記されており、その生年は死亡時期と年齢から逆算しておよそ享保17（1732）年前後ということになる。さらに「松宮家太祖」として「太次兵衛」の名が見え、生年は不明ながら没年は宝永6（1709）年とあるのでこの年より以前に松宮家が開創されたことになる。この松宮家の開創時期が、製網業の開始時期とほぼ一致しているのではないかと推測させるのが、明治23（1890）年4月から7月にかけて行われた第3回内国勸業博覧会に松宮太郎兵衛の名で「小目網」「廣目網」「袋網」の3種類の網を出品した際、「開業沿革」として「我租松宮太郎平宝永弍年中網商ヲ始メシヨリ爾来今日ニ至ル迄営業継続致シ来リタリ」との記述で、太郎兵衛と太次兵衛の名の相違はあるものの、網業開始の時期は概ね宝永2年頃であり、後

に製網業家として確立する「松宮太郎兵衛家」は宝永期から大正期まで継続していたものと考えられる。

本資料群は、寛政 6 (1794) 年から大正 15 (1926) 年までの史料が含まれていることは先に記したが、大正 15 年の史料は 1 点のみであり、他の史料との関連も薄いことから、概ね大正 4 (1915) 年がもっとも新しい史料とみなしてよい。その中でも明治期の史料が他を圧倒しており、この時期は先の順一氏作成の家の記録によると概ね 4 代太郎兵衛の弥吉以降ということになる。4 代弥吉については順一氏のものと思われる筆で「松宮家隆盛の祖」とあって、俳人としての一面もあったと記されている。本資料群には俳句の書付等の史料も散見され、史料群総体としては 4 代太郎兵衛 (弥吉) の頃の漁網製造販売に関する史料が中心を占めているとみなすことができよう。弥吉は明治 32 (1899) 年に亡くなっているが、その頃漁網は苧麻製のものから綿糸製のものへと変わりつつあった。その背景には、製網機械の発達があったようである。

本資料群には「日誌」と記された冊子体の資料が含まれている。これらは明治 21 (1888) 年から 38 (1905) 年まで日単位で継続的に記述された日記であるが、漁網商を営んでいた松宮家の商業日誌としての性格はほとんど見られず、多分に個人的な随想に類するものといってよい。時事問題や災害に関する事柄等興味深い記述がみられる。詳細については「史料紹介 一内国勸業博覧会史料と「日誌」から見る松宮太郎兵衛一」をご参照いただきたい。

(文責 越智信也)